

事情ガ日本ノ中産業者ニ向クテ、事情ガ一向ニ徹底シテ居ラナイノデアリマス、而シテ政府ガ之ニ對シテ何等責任ガナイト云フ譯ニモ行カナイト思フノデアリマスルガ、政府ニ於テハ此商務官ト云フモノヲ海外ニ派遣シテ居ル、併ナガラ極メテ少イノデアリマシテ、米國ニ一人、歐羅巴ニ一人、獨逸ニ一人ト云フヤウナ狀況デス、之ヲ以テ諸君ガ時ニニ官報ニ出テ居ル所ノ報告ヲ御覽ニナルデアリマセウガ、或ハ「シーメンス」會社デ配當三割ガアタトカ云フヤウナコトハ書イテアルケレドモ、此產業ノ實際ノ潛勢力ノ如何、如何ナル方面ニ歐米ノ產業ガ向ニテ居ルカ、經濟ガ向ニテ居ルカト云フヤウナコトヲ皆通信スルノニハ、僅カ三人バカリノ商務官デヤレルモノデハナイノデアリマス、是等ハ寧ロモット金ヲ出スシ、モット數モ植ヤスシ、而シテ出來テ居ル所ノ貿易通信員ト云フヤウナ者モ二十六人ハアリマスケレドモ、斯ノ如キ者モモント澤山囁託シテ而シテ海外ノ事情ト對應シテ、以テ我國ノ產業ヲ振興シ且ツ我國ノ工商業者ト云フモノニ對スル對策ヲ講ジナケレバ私ハニアリマス、昨年モ私ハ失業問題ニ付テハ英國ノヤウナ範ヲ取ッテサウシテ失業者ニテニ金ヲヤルト云フヤウナコトハイケナイ、所謂失業者即チ怠業者ト云フヤウナコトニナコトハイカナイト云フコトヲ申シタノデアリマスガ、今日ハ東京市ニ於キマシテモ到ル所道普請モ出來テ、大變ニ失業者救濟ト云フコトハ努メテ居リマスルケレドモ、是等ノ救濟ヲスルノニ、ドウ云フ状況デアルカト云フト、ナカ／＼勤勉努力シテ仕事ヲシテ居ルトハ言ヘナイノデアリマス、ノミナラズ先程萬國議院商事會議ノ事ヲ申シヤシタガ、我國ニハ如何ナル仕事ニモ、下請ケ、下請ケ、下請ケト云フモノガアル、土地ヲ買ヒマシテモ土地ガ廉ケレバ其上ニ地上權ト云フモノガ何時ノ間ニカ出

來テ來ルト云フ譯ズ、其中繼ト云フモノガ
是ハ不自然ナコトデアル、是等ノ統制ヲ圖ツ
テ行カナケレバ、眞ノ失業救濟ト云フコト
ニハ私ハナルマイト思フノデアリマス、
失業公債ト云フコトニ付キマシテモ、今
回豫算委員會デ問題ニナリマシタ兩國御茶
ノ水トカ、其他二三ノ失業鐵道債券ガ出テ、
千二百万圓ト云フモノガアリマス、其外ニ
モ二千万圓モアリマスガ、最モ極メテ重大
ナ仕事デアリマスケレドモ、私ノ考ヘルノ
ニハ緊締トカ節約トカ云フコトハ對外問題
デアリマシテ、對内ノ問題デハナイト思フ、
日本ノ中ニアル金ガ下ウ動イテモ差支ヘナ
イト思フノデアリマス、從^テテ下關門司ニ於
ケル此岸柳島ノ「トシネル」ノ事業モ、是モ
極メテ重大ナル仕事デアルト思フ、是等モ
早ク手ヲ著ケテ宜イコトデハナイカト思
フ、或ハ明治初年ニ於テ内務省ノ計畫シタ
所ノ琵琶湖ト日本海ノ間ノ比良ノ「トンネ
ル」デアリマスガ、アノ運河モ考ヘテ見タラ
極メテ重大ナルモノデアル、日本海トノ間
ノ舟楫ノ便ヲ圖ルト云フヤウナ仕事モアル、
幾ラモ……日本ニ取フテ最モ緊要ナ仕事デ
アッテ、而モ勞銀ガ廉ク、然ルベキ今日ニ於
テヤルコトハ幾ラモアルノデアリマスカ
ラ、ソレ等ノコトモ大イニ考ヘテ見タラバ
ドウカト思フノデアリマス、第三ハ金融ノ
問題デアリマス、ドウシテモ此失業者ノ救
濟ニセヨ、産工業ノ發展ニセヨ、歸スル所
ハ此金融機關ノ圓滑ト云フコトガ問題デア
ラウト思フノデス、此問題ガドウモ日本ノ
ヤリ方ガマダ徹底シテ居ラナイノミナラ
ズ、進歩シテ居ラナイノデス、日本ノ銀行
ト云フモノハ、マルデ昔ノ質屋ノ仕事デア
リマス、質ヲ取^テ貸シテ居ル質屋ノ仕事ヲ
明治ニナッテモ、今日ニナッテモヤ^テ居ルト
云フコトハ、是ハ時代ニ適應シナイノデア
リル、是等ノ模範モ佛蘭西ニモアリマスシ
獨逸ニモアリマスシ、米國エモアリマスシ

幾多ノ立派ナ銀行業者ノ新シイ模範事業ガアルノデアリマスカラ、單ニ五十万圓以下ノ銀行ヲ二百万圓ニスルト云フヤウナ形式ニ止ラズ、眞ニ我國ノ產工業ヲ發展セシメルダケノ組織ヲ金融業者ニ付ケテ戴キタイト思フ、尙ホ米國ナドニ於キマシテハ、御承知ノ如ク信用組合ト云フモノガ非常ニ發展フシテ居ルノデアリマス、デ私ノ考ヘル所ニ依リマスト云フト、此民間ノ事業デハ不動貯蓄ノ成績ガ今日ハ五倍モ預テ居ルテ、非常ナ好成績ヲ表シテ居ルト云フコトデアリマス、郵便貯金ノ金ガ隨分是ハ今日ハ大キナ金ヲ預テ居ル、此郵便貯金ノ如キモノヲ之ヲ庶民銀行化シテ、產業ノ建設ニ向テ健全ナル發達ヲナシ得ルヤウニキル方法ハ私ハアルダラウト思フ、又ヤッテ然ルベキ所ノ巨大ナ金額ヲ持テ死藏シテ居ルヤウナ風ニナフテ居ルノデハナイカト思ヒマス、尙ホココデ考フベキゴトハ、銀行業者竝ニ此金融ヲ融通スルト云フコトニ付キマシテハ、私ハ結局人間ノ問題デアラウト思フノデアリマス、今マデ質屋ガヤツテ居ルヤウニ擔保品ヲ、有力ナル、有利ナル所ノ株式ト云フモノヲ取テヤッテ居ルタ、私ハ今回ノ震災以後ニ於テ五十圓拂込ノ株式ガ二十圓ニナリ、十八圓ニナタト云フヤウナコトハ、如何ニ斯ノ如キ投資ト云フモノガ不健全ナモノデアルカト云フコトヲ證明ジテ居ルデアラウト思フ、又土地ト云フヤウナモノニ對シマシテモ、今日ハ非常ニ價格ガ高下フテ居ルシ、下ッテ居ルノミナラズ、之ヲ動産化シヤウト思テモ出來ナイト云フヤウナウザ狀況ニアル、ドウシテモ是ハ階級的貸付ニ改メテ、サウシテ人間ノ信用ト云フヨトニ重キヲ置カナケレバナラナイ、富ノ方面ハ是ハ動クモノデアリマシテ、今日百万長者ガ直ニ貧民ニナルト云フヤウナコトハ、有リガチナコトデアリマスカラ、人間ノ頭ノ中ノ財産ヲ土臺ニシテ、而シテ此階級貨物ノ合理化ト云フコトニ向テ進ムト云フ

ヤウナコトモ一策アラウト思フノデアリ
マス、色々考ヘテ見マスト云フト、此金融
ノ方面ニ村キマシテモ多々佛蘭西乃至亞米
利加ニ模範ヲ採テ考ヘテ行ケバ、又日本式
ノ立派ナモノガ出來ルデアラウト私ハ思フ
ノデアリマス、併ナガラ此處ニ云フ金融ト
云フノハ即チ産工業者ニ對スル救濟竝ニ失
業者ニ對スル救濟ノ意味デ私ハ申シテ居ル
ノデゴザイマス、若シモ金融其モノガ金融
ソレダケノ頭デ以テ、我國ノ富ヲ殖ヤサウ
ト云フナラバ、是ハ考ヘモノデアラウト思
フ、今日ハ獨逸流ノ工業ノヤリ方ガアリマ
ス、佛蘭西流ノ金貨輸入策ト云フモノモア
リマス、米國流ノ又經濟ノヤリ方モアリマ
スケレドモ、佛蘭西ニ今日金ガ非常ニ入テ
來ルト言フテ羨ム人ガアリマスガ、佛蘭西ニ
金ノ入ルノハ、國民全體ガ外國ノ公債ヲ買
テ、謂ハバ他ノ國ニ高利貸ヲシテ其利益ヲ
ガナイ、斯ノ如キモノハ我ニノ模範トナス
ニ足リナインデアリマス、昔和蘭ガ德川時
代ニ於テ非常ニ發展ラシタノデアリマスガ、
終リハ矢張リ此高利貸のノ事業ヲヤッタ爲
ニ、和蘭ハ三流ノ國ニ今日ナフテシマツクノ
デアル、佛蘭西モ此轍ヲ履マザランコトヲ
我ニ望ムノデアリマス、金融ガ單ニ金融ノ
コドノミ考ヘテ行クト、産工業ニハ何等關係
係ガナイト思フ、第四ハ其意味ニ於キマシ
テ、商工業方面ノ統制ヲ圖テ戴キタイト思
フ、アリマス、テ中產業者ナドガ今日非
常ニ困ニテ居ルト云フコトハ、「デパートメ
ント」其他ニ對シテノ對策ガ宜シキヲ得ナ
イコトデアラウト思フ、是モ宜シク當局ガ
ラ指導シテ、而シテ之ガ健全ナル對策ヲ圖
ルト云フコトモ必要デアラウト思フ、民間
ニ於テハ御承知ノ如ク今回大阪ニ共營「デ
パートメント」ガ出來ルサウデアリマスガ、
「ツノビルディング」ヲ造テ中小工業者
ガ集テ、物品ヲ提供シテ、サウシテ大キナ

澤山アル「チエニンストーリー」、連鎖店ト云
フヤウナモノガ日本ニモ遣入シテ來テ、森ノ
式ノモノガ段々出來テ來ルサウデアリマス
ガ、中産業者万大ナル「デパート」ニ對シテナ
ル社事ハ、合理的ニヤレバ快シテヤレナイ
コトハナノニアリマス、或ハ數者相集ニテ
合資シテ、或ハ株式ニシテヤッテ行クト云フ
コトモ出來ルノデアリマス、ケレドモ私ガ
此金融ノ方面ニ於テチヨット考ヘタノデアリ
リマスガ、前内閣ニ於テ五千万圓、現内閣
ニ於テ二千五百万圓ト云フモノヲ貸出しシ
融通シテ居ルノデアリマス、所ガ個人ニ對
シテ最後ニ渡ル金ニ對シテハ、八分五厘ト
シテ利息ガ掛カ、テ居ルノデアリマス、諸
君、考ヘテ御覽ナサイ、八分五厘ト云フ金
ヲ借リタナラバ、一割以上ノ利益ヲ得ナケ
レバ立チ行クモノデハナイ、所ガ今日歐羅
巴ノ產業、亞米利加ノ產業ナド御覽ニナル
ト、株式會社デ一割ト云フ利益ヲ得ルモノ
ハ極メテ少ノイデアリマス、若モ一割ト云
フヤウナ利益ヲ得ルト云フヤウナコトニナ
ルナラバ、今日人口ノドンドンヽ殖エテ行ク
所ノ日本ガ、海外ニ發展スルコトガ出來ナ
イ、伯刺西蘭ニ行クタテ、滿洲ニ行クタテ
一割以上ノ利益ヲ得ルト云フコトハ到底出
來ナイノデアリマス、内地デ以テ今日銀行
デ一割二分ノ配當ガ只取レルナラバ、何ヲ
ルト云ア方策ヲ講ズルノガ當然デアラウト
思フノデアリマス、ノミナラズ會社ノ監査
リマセウ、茲ニ於テ内地デハ寧ロ利益ト云
フモノヲ少クシテ、サウシテ海外ニ發展ス
ルト云ア方策ヲ講ズルノガ當然デアラウト
役ノ如キモノハ、一月ニ一遍行クテ、基ヲ
打テ居ルト云フヤウナコトデ、數千圓ノ金
ヲ年ニ貰、テ居ルト云フヤウナコトハ、是ハ
ナケレバナタヌ、ソレ故ニ低利資金ト云フ

デアリマス、爾亦此國產獎勵ト云フコトニ付テ、今日聲ガ揚ガテ居ル、是ハ眞劍味ヲ以テヤラナケレバナラヌノアリマス、併ナガラ英國ナドニ於キマシテノ國產獎勵ヲ御覽ニナルト、英吉利ニハ餘リ國產ハアリヤシナイ、國外ノ植民地ノ國產獎勵ヲ「ボヌタ」ヲ貼テ頻リニヤンテ居ルガ、日本ノ國產獎勵ハ内地ニ於テ、臺灣モ朝鮮モ頭ノ中ニ這入テ居ナイ國產獎勵デアリマス、是デハ大國民トシテ甚ダ狹量ナコトデアラウト考ヘルノデアリマス、デスカラ産業ノ發達ト云フコト、人口ノ調節、失業者ノ合理化ト云フヤウナコトハ、日本全體ノ方面カラ考ヘテ行カナケレバナラヌグラウト思フノデアリマスケレドモ、斯カル意味ニ於キマシテドウシテモ商工業ノ向上發展ヲ圖ルガ爲ニハ、商工業ノ統制ヲ圖ルト云フコトニ於テ、政府ハ十分ニ今後努力シテ戴キタイト思フノデアリマス、徒ニ調査會ヲ設ケタ所デ、其結果ハ直接ナル所ノ效果ヲ齎ラシ得ルモノデハナイノデアリマスカラ、直接ナル效果ハ、直接ニ之ヲ實行シテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、產業ノ合理化ト、大工業者、大商業者ニ對シテ、中小商工業者ノ對策ヲ之ニ於テ考究シテ戴カナケレバナラヌト思フノデアリマス、過去一年間ニ於キマシテハ相當ニ政府ハ考慮サレテ居リマスケレドモ、奈何セン、大問題デアルカラ遲々タル進歩デアルト思ヒマスケレドモ、今日ハ特ニ之ヲ考慮シテ戴キタイトト思フノデアリマス、斯ノ如キ問題ハ單ニ大藏大臣ニ對スル問題デハナイ、農村ノ疲弊ハ延テ中小工農者ノ購買力ヲ失ヒマスカラ、農林省ニモ關係ガアリ、内務省ニモ無論失業ノ關係デ關係ガアル、内閣全體ノ責任トシテ之ヲ御引受ケニナツテ、而シテ十分ナル調査ヲシテ、而シテ此急務ニ對應スル政策ヲ講ゼラレムコトヲ望ム次第デアリマス、ドウカ從

○副議長(公爵近衛文麿君)此際議事進行ニ付キマシテ、小久保喜七君ヨリ發言ヲ求メラレマシタカラ、許可イタシマス
○小久保喜七君(小久保喜七君演壇ニ登る)此際議事進行ニ付キマシテ、小久保喜七君ヨリ發言ヲ求メラレマシタカラ、許可イタシマス
シテ、重大ト思量イタシマスル事ニ關シ、議事進行ニ付テ一言イタシタインデアリマス、鑑カ四五分間御許シヲ願ヒタイト思フノデアリマス、私ハ立憲政體ノ妙用ヘ、私ガ申上ゲルマデモナク、輔弼機關ト協賛機關ガ、一堂ノ申ニ慎重審議スルト云フコトガ、之ガ他ノ政體ニ優レル所ノ所以ト思フノデアリマス、サウシテ重大問題ニハ總理大臣ガ必ず閣僚ヲ率キテ臨席ヲ致シテ其説明ヲ聽キ、其討議ヲ聽クト云フコトガ慣例ニナシタト云フコトハ、此慎重審議ヲスルト云フ立憲政體ノ本義カラ出タ好慣例ト思フノデアリマス、ソコデ只今問題ニナシテ居リマスル此決議案ト云フモノハ、私ハ本院ニテハ、當議會ニ於キマスル稀有ノ重大問題ト考ヘルノデアリマス、第一去年ノ建議案ハ政府ガ十分實行シナカツカラト云フ、所謂其後始末ト云フ意味モ此中ニハ含ンデ居ルデアラウト思フ、又其内容ハ經濟問題カラ進ンデ、今日ハ人道問題遂行シタ、失業救濟ニ關スル緊切ノ問題デアリマス、而シテ提出ノ經過ヲ見マスレバ、本院ニ於ケル大團體タル研究會ノ提唱ニ出デテ、各派ガモ宜シイ位ノ經過デ提出ガアツタノデアリマス、此三ツノ上カラ云マテ此案ハ實ニ當

リマス、サウシテ總理大臣ハ本月丸日病死
全懲シタリトシテ、陛下ニ奏上ヲ致シ、自ラ大政變理ノ任ニ當ツテ、而シテチヨットデハゴザイマスガ本院ニモ二度バカリ登院ヲ致シタ、又衆議院ニハ委員會ニモ出席ヲ致シ、日ノ追加豫算ノ際ノ如キハニ二時間ニ亘、テ質問ニ對シテ應答ヲ致シタノデアリマス、若シソレデ御疲レデアルト云フコトナラバ、是モヨリムヲ得ナイノデアリマスガ、昨日カラ今朝ニ掛ケテノ新聞ヲ見マスレバ其後ノ經過良好デ思ヒノ外元氣ヲ恢復シタ云フコトガ主治醫ノ報告ニ明カニナッテ居ルノデアリマス、又新聞ガ記載スル迄ニ御體ノ工合ガ目ノ下院ノ本會ヘモ出席ナサルデアラウ、又當院ノ減稅案ノ委員會ニモ出席ヲスルデアリマス、新聞ガ記載スル迄ニ御體ノ工合ガ良イダリマス、シテ見マスレバ案ハ此重大ナ案デアル、而シテ總理大臣ノ御體ノ状態ガ斯ノ如シト致シマスレバ、此處ニ御ラウト、新聞ガ記載スル迄ニ御體ノ工合ガ良イダリマス、シテ見マスレバ案ハ此重大ナ案デアル、而シテ總理大臣ノ御體ノ状態ガ斯ノ如シト致シマスレバ、此處ニ御臨席ノナイト云フコトハ、私ハ誠ニ遺憾ニ堪ヘナインデアリマス、否遺憾ト云フヨリハ私ハ怪訝ニ堪ヘナイト申シテ宣シオノデアラウト思フ、總理大臣ノ此處置ヲ看過イタシマスレバ、之ヲ默視イタシマスレバ、即チ貴族院ガ自ラ議議ヲ重ンゼザルツノ不都合ニ陥リハセヌカト私ハ考ヘルノデアリマス、又總理大臣ヲシテ曠職ノ譏ヲ受ケシムルコトニナリハセヌカト私ハ思フノデアリマス、斯ノ如キ理由カラ致シマシテ、私ハ此重大問題ニ際シテハ總理大臣御出席ニ相成ルヤウ、議長ニ於テ御取計ヒアラムコトヲ希望イタスモノデアリマス、之ヲ以テ議事ノ進行ト致シマス

議ノ席ニ於テモ之ヲ論究シ、學務部長會議ニ於テモ之ヲ講究シ、而シテ兩大臣ノ名前ヲ以テ地方官ニソレバ、訓令ヲ興ヘマシテ、斯様ナル教員ノ給料不拂ト云フヤウナソレバ、各地ニ對シマシテ訓令ヲ御出しニナツタデアリマセウ、是ハ當リ前ノコトデアリマス、唯之アルガ故ニ能事終レリト御考論地方官ノ會議モ爲サクデアリマセウ、又狀況ヲ生ジナイヤウニ、十分ニ注意ヲ致スヤウニ訓令モ致シテ居ルノデアリマス、「無論地方官ノ會議モ爲サクデアリマセウ、又ソレバ、各地ニ對シマシテ訓令ヲ御出シニナツタデアリマセウ、是ハ當リ前ノコトデアリマス、唯之アルガ故ニ能事終レリト御考論地方官ノ會議ヤ、訓令ヲ御出しニナツタデ居ルト云フコトハ、大變ナ御間違ヒデアリマシタナラバ、誠ニ政治ト云フモノハ樂ナモノデアリマス、併シサウハ參ラデ、ソレデ事ガ圓ク納マルト云フヤウナモノデアリマシタナラバ、誠ニ政治ト云フモノハ樂ナモノデアリマス、此社説ニ書イテナインデアリマス、此地方官ノ會議ヤ、訓令ヲ御出しニナツタ後ノ有様ハドウデアリマスカ、是ハ東京朝日ノ朝刊昭和六年三月十九日ノ社説デアリマス、此社説ニ書イテアリマスノヲ私讀ミマシテ、誠ニ私ハ同感デアリマス、同感デアリマスルカラ之ヲ拜借シマシテ、皆様ニ御紹介シヤウト思フノデアリマス、標題ハ「教員生活保障ト教育擁護」ト云フコトデアリマス、極ク要點ダケヲ申上ゲマスト云フト、「各府縣教育會ヲ單位トスル全國聯合教育會ガニニ瓦ツテ臨時總會ヲ開キ、尋常小學校教員俸給全額國庫支辨ヲ根本對策トシ、俸給不拂ト強制寄附反對ノ決議ヲシタコトハ、政府竝ニ議會トシテハ、其儘ニ看過出來ナイ問題ダト言ハナケレバナラヌ、(中略)此一年間ニ更ニ悪化シテ來タノデアル、熟練教員ヲ整理シタ後ヘ、初任給ヲ引下ゲタ師範ヲ出タテノ少年教員ヲ雇フ位デハ濟マナクナリ、現在

活ヲ脅シテ居ルノデアル、(中略)教員俸給補助ノ目的デ、國庫カラ貰フテ居ル金ヲヒニ流用シテ教員ノ俸給ハ不拂デ居ルト云フヤウナコトヤ、平均俸給六七十圓ノ小學校教員ノ既得權ヲ侵シ、犠牲ヲ強ヒテ居ル事實ハ決シテ是認スルコトハ出來ナイノデアル、ソレヲ唯選舉ニ於ケル公約ダカラト言テ漫然ト一千万圓ヲ増額シタ儘デ、其後町村財政ノ切詰メヲ命令シ、其結果ハ當然ニ教育費ニ影響スルヲ知リナガラ體裁ダケノ訓令通牒ヲ發シテ、不拂モ寄附強要モナイヤウナ顔ヲシテ居ルノハ無責任モ甚シトイ言ハナケレバナラヌ、市町村義務教育費國庫負擔法制定ノ理由ガ教育ノ振興ト擁護ノ爲ニ對シ、貴族院ノ附シタル希望決議ニ言ノ如ク「同法ノ精神ニ基キ義務教育ノ改善ヲコトハ言フ迄モナイ、(中略)少クモ昨年ノ臨時議會ニ於テ一千萬圓増額ノ負擔法改正デナケレバナラヌ、然ニ此一年ノ間ノ成行キハ國庫負擔一千萬圓ノ増額ガ何ノ好成績ヲ挙ゲテ居ナイノミカ、却ツテ「義務教育ノ改善」ノ代リニ改惡ノ跡ガ著シイノデアル、義務教育ノ普及徹底ト其内容ノ改善向上ガ國民精神ノ上ニ如何ニ大ナル影響ヲ持ツカハ今更言フヲ俟タヌノデアル、而シテ其事ガ專ラ小學校教員ノ質ノ問題ニ係ルコトヲ思フ時、現時ノ俸給不拂、寄附強要ヲ中心トシテ町村當局トノ間ニ全國的ニ對立關係ヲ作りツ、アルコトノ結果ガ甚ダ喜ブベ力ラザルモノガアルコトヲ覆ヒ得ナイノデアル、肉體的ニ小學校教員ノ結核化ノ危險ガアルヤウニ、思想的ニ小學校教員ノ左傾化ノ危険ハ最モ警戒サレナケレバナラヌ事實ニアル、面シテ其最モ良基豫防法ハ小學校教員ノ生活安定ニ基礎ヲ置カナケレバナラズ、生活ニ對シテ不斷ノ脅威ト過重ノ負擔ヲ與ヘ

危険ナル方法ト言ハナケレバナラヌ、教員ノ生活保障ハ即チ國民教育ノ擁護デアル、政ヲ行フ者ハ之ヲ重視シナケレバナラナイ、又中外商業ノ矢張リ昭和六年三月十九日ノ朝刊ニ矢張リ同様ナ要旨ノ社説ガ出テ居リマス、「國民教育ノ爲ニ、小學教員ノ俸給問題」ト云フ題ヲ掲ゲマシテ是モ斯様ナコトヲ申シテ居リマス「一般財界ノ不況、延イテハ地方農村ノ疲弊ハ、日ヲ逐ウテ甚ダシク自然各方面ニ於テ救濟ヲ求メル悲鳴ガ學ゲラレテ居ルガ、其中デモ最モ悲慘デアルト考ヘラレルノハ小學教員ノ生活状態デアル、地方農村ノ疲弊ノ爲ニ小學教員ノ給料不拂、或ハ其延拂ヒ、更ニ進シデハ俸給ヲ殆ド強制ニ寄附セシムルト云フヤウナ事實ガ所在ニ行ハレテ居ルノデ、其ヤウナ取扱ヲ受ケテ、痛苦ノ裡ニ呻吟スル小學教員ハ其數ニ於テ決シテ少クハアルマイト思フ、勿論教員俸給ニ對スル是等ノ措置ハ萬々已ムヲ得ザルニ出ヅルモノデ、何トモ致方ガナイト云ヘバ、ソレマデデアルガ、併シ國民教育ノ上カラ見レバ全ク由タシキ大事ト云ハナケレバナラヌ(中略)近時政府當局者ノナス所ヲ見ルニ、徒ニ人心ニ迎合スルノ傾キヲ免レナイ、既ニ人心ニ迎合スル位デアルカラ、熾烈ノ要求ガアルカ、或ハ一種ノ示威的運動デモ烈猛ニ起ツテ來レバ、何ト力往々ニシテ之ヲ見受ケルノデアル」是ハ誠對應ノ措置ヲ講ズルケレドモ、然ラザレバ大抵ノコトハ故意デハナカラウガ、兎角放置シテ顧ミナイト云フヤウナ事態モ我等ハ往々ニシテ之ヲ見受ケルノデアル」是ハ誠ニ能ク言ニテ居ルノデ、聞ク所ニ依ルト、救護法ノ實施ニ付テモ何カ御上ニ愈ニ直訴デモスルト云フヤウナ氣配ガ見エタノデ、急ニ救護法ニ關スル豫算ヲ急遽トシテ御出シニナルヤウナコトニ進ンダモノノ如クニ思ハシメルノデアリマス「是ハ何トシテモ面白クナイト思フ、小學教員ノ如キモ其地位

ヘ得ナイデアラウト思フ、故ニソレダケ
一層同情ノ眼ヲ以テ見ナケレバナラナイ
ノデアル、日常其生活ガ窮乏ノ極ニアリ、
而モ其地位ガ不安定ト云フヤウナコトデハ、
遂ニハ其職分ニ忠實ナルヲ得ナイコトニモ
ナルデアラウ、ソレガ自然ニ國民教育ノ上
ニ幾多ノ大ナル悪影響ヲ及サナケレバシム
マイト思フ、我等ハ此問題ニ對シテ政府當
局者ガ一日モ速ニ適當ノ措置ヲ講ジナケレ
バナラヌト思フガ云々ト書イテアリマス、
是ハ社説デアリマス、其他社説デハアリマ
セヌガ報道ト致シマシテハ澤山ナ新聞ニ出
テ居リマス、東京日日ハ三月十六日ノ夕刊
ニ「教員ノ給料未拂ヒ一千町村ニ上ル、全
國教育會ガ大評定」ト云フ題デ書イテアリ
マス、又是モ東京日日、同様ニ三月十七日
ノ朝刊ニ「教員ノ俸給ハ國庫デ拂ヘ、全國
聯合教育會ノ決議」ト云フ題デ書イテアリ
マス、又中外商業ノ三月十七日ノ朝刊「窮
狀ニ陥リツ、アル小學校教員ヲ救ヘ、昨日是
ガ善處ノ爲メ聯合臨時總會」、東京朝日モ同
様同日ノ朝刊ニ「教員ヲ救ヘ、俸給寄附強
要ニ反對ヲ決議、全國教育會代表會議」、三
月九日ノ朝刊都ニハ「十ヶ月モ教員ノ俸給
ヲ拂ハヌ町村、帝國教育調査ノ驚クベキ實
例、部下ヲ取締レヌ校長」、國民ニモ是ハ日
ヲチヨット忘レマシタガ、「教員ノミ減俸
ノ憂目ヘ、一千數百ノ町村ニ實行、精神的サ
ボニ陥ル」ト云フヤウナ題目デ書イテアリ
マス、何レモ是ハ本年ノ二月二十五日私ガ
此演壇デ失業救濟ニ關スル質疑ヲ致シマシ
タ後ノ社會報道デアリマス、幣原首相代理
ハ地方官ノ會議モシタ、訓令モ出シタト言
ウテ晏然トシテ居ラレマスルガ、事態ハ左
様ニ簡單ナモノデハナイノデアリマス、次
ニ幣原首相代理ハ斯様ニ答ヘラレテ居リマ
ス、是ハ中小商工者ニ對シマスル低別融通
金ノコトデゴザイマス、「二千五百万圓ヲ融

通イタシ得ルコトニ致シテ居業救濟ノ爲ニ、同ジク預金部ヨリ七千万圓ヲ融通スルコトヲ決定イタシマシタコトモ前田子爵ハ述ベテ居ラレルノデアリマス、是ハ今日何等貸渡シニナツテ居ラヌ、融通ガ出来テ居ラヌト云フコトヲ御述ベニナリマシタ、如何ニモ此融通ニ付キマシテ故障ノアツコトモ承知イタシテ居リマスケレドモ、目下ニ於キマシテハ現ニ其進行ノ爲ニ……圓滿ナル進行ノ爲ニ極力努力イタシテ居ル所デアリマス、今少シク此努力ノ結果ヲ御覽下サランコトヲ希望イタシマス、斯ウ云フコトヲ申サレテ居リマス、成程御答ノ通り預金部カラ信用組合ヲ通シマシテ一千五百万圓ノ利息ノ金ガ融通サレルト云フ途ハ開イテアリマスケレドモ、實際貸出シニナツカ金額ハ一千五百万圓ノ半分ニ毛マダ充タナインデアリマス、更ニ又農村、漁村、山村ニ七千万圓ノ貸出ノ途ハ開イタント仰セラレマスケレドモ、驚ク勿レ鑑一文是ハ貸出シテナイノデアリマス、是ハ大藏省カラ私が御貰ヒシマシタ調査ノ調書ノ中ニ出テ居ル次第デアリマス、先程他ノコトノデ羊頭ヲ懸ケ云狗肉ヲ賣ルト云フ譬ヲ引きマシタガ、此七千万圓ノ問題ノ如キハ全くな其通りデアリマス、見セ金モ實ニ甚シイモノデアリマス、次ニ公益質屋ノ利用ノコトニ付テ御答ニナツテ居リマス、是モ貸付金額並ニ利用者ノ數ハ漸次増加イタシテ居ルノデアリマス、斯ウ幣原首相代理ハ答ヘラレマシタ、是ハ全ク全然嘘デアリマス、是ハ其時ニモ申上ガマシタケレドモ、今日初メ益質屋ニ於ケル小産業者資金貸付状況ト云フ頬デ、昭和五年三月末ノ現在ト、ソレカララ昭和五年九月ソ末ノ現在ト昭和六年一月十五日ノ現在ガアリマスガ、成程、アル方

ニハ貸付現在額ガ書イテアリマス、書イテアサマスケレドモ貸付金額ガ不明デアリマス、又貸付金額ヤ貸付現在額ハ分々テ居リマスケレドモ、利用者ノ數ガ不明ト云フコトニナツテ居リマス、又中ニハ貸付金額モ利用者ノ數モ不明ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、是デハドウセ公益質屋ガ貸出ガ段々増シテ中小産業者ガ金融ノ上ニ寛ギガ付イタト云フヤウナコトハドウモ分リ兼ヘルノデアリマス、デ私ハ甚ダ憎マレロヲ申上ゲマスヤウデアリマスケレドモ、當時ノ幣原首相代理、今日ノ幣原國務大臣ニ對シマシテ、御存ジノナイコトハ眞シヤカニ仰シヤラナイ方ガ宜シトイト云フコトヲ申上ゲタインオデアリマス、ソレカラ職業紹介所ノコトニ付テ、矢張リ當時ノ幣原首相代理ハ御答ヘニナツテ居リマスガ、是ハ後程ニ安達内相ノ矢張リ職業紹介所ニ對スル御應答ガアリマスカラ、ソレニ對シテ申上ゲル時ニ一緒ニ申上ゲヤウト思フノデアリマス、是ハ後ニ廻シマス、尙ホ幣原當時ノ首相代理ハ動モスルト外國ノコトヲ仰シヤル、チヨト讀ンデ見マス「外國ノ例ヲ引イテ來テ對照スル譯デハアリマセヌケレドモ」ト御斷リニナツテ居リマスケレドモ、矢張リ外國ノコトヲ引イテ仰シヤッテ居ラレマス、是モ御参考ノ爲ニ附加ヘマスレバ、最近即チ本年ノ二月、英吉利ニ於キマシテハ失業者ハ既ニ二百六十万人ニ達シテ居ル、之ヲ昨年ノ同時期ニ比べマスト云フト、百十一万何千人ト云フモノヲ増シテ居リマス、勞働黨内閣ガ組織セラレマシタ時カラ比ベマスト云フト、百五十万人ヲ増シテ居リマス、是等ニ比べマスレバソレハ遙ニ少ナイ數デアルト、ドモ」ト御断リニナツテ居リマスケレドモ「御参考ノ爲ニ申シマスレバ、斯ノ如ク日本ノ失業者ノ數ト云フモノハ、英吉利ナンカト比ベマスレバソレハ遙ニ少ナイ數デアルト、

私ハ考へルノデアリマス」斯様ナコトヲ仰セラレマス、私ハ甚ダ不人情ナコトヲ申スヤウデアリマスガ、外國方如何ヤウニ不景氣デアラウト、如何ニ失業者が多ク出ヤウト、先ツ我國ガ左程ナ蔓ノ無クナッタ後ナレバ御同情シテ何トカ御手助ケシテ上ガタイデアリマス、外國ノコトハドウデモ宜シイノデ、外國モ不景氣ダカラ、我國ノ不景氣モ御多分ニ漏レナイカラ辛抱シロトカ、英吉利ニハ二百万人以上失業者ガゴロ付イテ居ルカラ日本モソレカラ比べテ見レバ少イカラマア幸抱シタラ宜カラウト云フヤウニ仰セラレハシマセスケレドモ、ドウモ仰セラレルヤウニモ取レルヤウナ御言葉ガアルト云フコトハ誠ニ私ハ意外ニ感じ、遺憾ニ感ズル次第デアリマス、外國ハ外國、外國ニハソレゾレ知名ノ政治家ガ御渝ヒデアリマセウ、ソレニ對シテ其國ニ最モ適切、切實ナル政策ガソレゾレ立テ得ラレルダラウト思ヒマス、外國ノコトハ宜シイ、日本ハ日本ノ特殊ノ立場ニ於キマシテ經國經濟民ノ國策ヲ御立チナサルト云フノデアッテコソ始メテ、私ハ畏敬スル所ノ政治家ダト私ハ思フノデアリマス、是ハ獨リ幣原首相代理ノミナラズ大藏大臣モ時々外國ノ不景氣、外國ノ失業者ヲ御引用ニナリマシテ御辯疏ラシイコトヲ仰シヤルヤウデ、私ハ甚ダ大政治家ニ似合ハシカラヌコトデアルト思フノデアリマス、次ニ商工大臣儀君ハ當時私ノ質疑ニ答ヘラレマシテ、斯様ニ仰セラレマシタ、其要點ダケフ申上ダマス、現今ノ首相代理ノ相對的デアルトカ、大變安定シタト云フノトハ、大變ドウモ同ジ閣僚デ御シテ、其狀態ガ殆ド極度ニ達シテ居ハセヌカト思フ位デアルノデアリマス」、是ト幣原

ノ方ガ私ノ肯綮ヲ得テ居ルト思フノデアリマス「前田子爵ト共ニ我ニ共モ誠ニ心配イタシテ居リマスノデアリマス」誠ニ神妙ナ抑セデアリマス、次ニ「產業合理化ト國産愛用ハ刻下ノ商工業ヲ救フダケデハアリマセ、我國ノ刻下ノ經濟ヲ建直スニ付テ最モ必要ナル所ノ二大政策デアルトマデ考ヘテ居ル始末デアルノデアリマス、併ナガラ此產業ノ合理化國産愛用ノ成績ハ餘り現レヌデハナイカ、如何ニモ御尤千萬ナ御疑デアリマス（中略）國民自身ノ運動ヲ此呼聲ニ依テ惹起ス、國民諸君ト共ニ此所謂產業合理化國產愛用ノ實現ヲ期スルト云フ立前デアリマスルカラ、中々半年ヤ一年位デハサウ成績ガ實現ハ出來ナイノデアリマス（中略）昨年ノ夏時分カラ此運動ヲ致シテ居ルノデアリマス、如何ニモ成績ガ舉ラズ、併ナガラ國民運動ト申シマスルモノハ中々サレテ居リマス、誠ニ苦心ノ程御察シシマス、併ナガラ正直ナル告白ヲサレテ居ラレルノデアリマス、私ハ決シテ此產業合理化不不服デハナイノデアリマス、誠ニ御趣旨ニ於テハ結構ナコトダト私ハ贊成ヲ致シテ居ルノデアリマス、唯私ガ質疑ノ際ニ申上ゲマシタノハ、理想ト致シマシテハ產業合理化ト云フモノハ、誠ニ結構ナコトデアリマスルケレドモ、餘程其施設ニ付キマシテ用意周到ニナサラヌト云フト、徒ニ失業者ヲバ多ク出シマシテ、サウシテ品物ガ高クナリ、消費者ガ却フテ之ガ爲ニ困ルト云フヤウナ、今日獨逸ノ國情ノ如キモノガ現ハレタノデアリマス、固ヨリ綿縮、縞三綾ノ統制ノ出来マシタコトニ付キマシテハ、私ハ率直ニ御褒メ申上ゲテ居タノデアリマス

ス、ソレハ結構ナコトデアリマシタ、誠ニ
御成功デアリマシタ云フコトハ申上ゲデ
居リマシタ、唯ソレダケデハアリマセ又か
ト云フコトヲ附加ヘタルデアリマス、其ニ
外ニハ何ニモ出来テ居テヌド云フコト
ヘ誠ニ遺憾トコトニアル、其點ニ付キマ
セア商工大臣ニ私ハ希望ヲ申述べテ置キ
億万八千ト云フコトヲ申上ダマシタガ、其ノ
所謂代用品ノ中ノ、無論工業品ニアリマ
スニ、工業品ニアリマス、工業品ノ中ノ主
モナル工業品ノ百十五種類、百十五種類ヲ
選ビマシテ、百十五種類ノ中、昨年ノ輸入、
一昨年、一昨年ノ輸入ト幾許、輸入價額
ニ、輸入狀況ニ相違ガアツカト思ヒマシ
テ、調べテ見マスルト云フド、其代用シ得ル
トセラレマシタ所ノ百十五種類ノ輸入物ニ
付キマシテ、昭和三年度ニ比べマスト四割
三分、昭和四年度ニ比ベマスト四割二分ノ
輸入減退を見テ居ルノデアリマス、全體ノ
輸入額ニアリマセヌ、百十五種類ノ品目
ニ隸フテ輸入金額ヲ調べテ見マスルト、斯ガ
云フ成績ニアリマス、是ガ全部が國產製用ノ
結果トハ決シテ申シマセヌ、ソレハ日本ノ
不景氣ノ爲ニ購買力ガ減退ヲ致シマシテ、
其ノ西洋ノ物ヲ買ヒタイト思シテモ購買
方ニ減退ノ結果、買ヘヌモノモ此統計數字
ノ上ニハ無論現ヘレテ參リマス、併ナガラ
兎モ角モ、昭和三年、昭和四年度ノ輸入品ニ
比ベテ見テ、昭和五年度ノ輸入價額方、百
十五種類ニ限リ、附割三分、四割二分ノ減
退オシテ居テマス、是ハ金額ハ約二億圓内
外デアリマス、斯カ云ア成績ニアリマスル
カラ、是ガ然ラバ其中ノ何割、金額ニシテ
何千万圓ガ、國產麥收ノ結果デアルカト云
フ計數ハ、是ハ申シムヅカシウゴザイマス
ルケレドモガ、「云々ト申サレテ居リマス」
私ハ之ニ對シマシテ當時斯様ニ申上ダマシ

タ、商工大臣が御自分かテ危ブンデ仰セラ
レニナリマシタ通リニ、此貿易輸入額が五
億モ減退シダト云フコトハ、國產麥用獎勵
運動ノ全盛結果ハナキ、斯様ニ告白シテ
居テレマスカラ、私ハ追究ノタジセヌメ
ガアリマシタ、ケレドモ、私ハ斯様ニ申上
ガマンタ、政府ノ徵収レタ政策ニ依テ日本
ノ商工界ガ萎縮萎靡ニタカラ、從云輸入ガ
減退ヲシタノデアラウ日思フ、本年一月ノ
貿易界ヲ調べテ見マスルト云フト、確ニ五
割ハ減ツテ居ルノデアリマス、其減ツテ居ル
ト云フコトガ、直チニ國產麥用獎勵運動ノ
結果デアルトハ申シ切レナイメデアリマ
ス、此點ニ付テモ明晰ニ御答辯ニ與リマセ
ヌト云フト、此五割輸入ノ減ジタト云フコ
トガ、國產麥用ノ御手柄デアルトハ直チニ
私ハ首肯スルコトハ出來ナイノデアリマ
ス、越エマシテ二月ノ二十七日ニ當議場ニ
於キマシテ、安達内相カラ一十五日ニ於ケ
ル私ノ質疑ニ對シマシテ、當時御缺席テア
タガ故ニ、遲レ馳セナガラ御答辯ニ接シタ
ノデアリマス、其第一ハ失業狀況ニ付テノ
御答辯デアリマシタ、「第一ハ失業ノ狀況ニ
關スル點デアリマスガ、其御質問ノ要旨ハ、
失業者ハ政府ノ對策如何ニ拘ラズ茲、増加
シテ居ル、昨年ノ初メ三十五万人大シモ
ノガ三十八万人ニ増加シタ、尙ホ社會局ノ
調査ハ歸農者及ビ學校卒業ノ未就職者ヲ含
マサルモノカルヲ以テ是等ヲ加フル時ハ百
万ヲ下ラヌデアラ、是テ政府ノ經濟政策
及ビ失業對策ノ無力ナルコトガ知ラルト
云フ意味ノ御質問デアリマス、私ハ此御問
ヒニ御答ヘ致シマスガ、社會局ノ推定失業
者ノ數ハ昨年二月、三十五萬人ニアリマシ
テ、其後漸次ニ増加ナシマシテ、最高ノ
時ハ九月テアリマシテ、三十九万五千人ア
リマスガ、十月ニハ三十七万四千人、十一
月ハ三十五万人ニ減ジマシテ、アレカテ
半月一日ニ施行セラレマシタ國勢調査ノ失
業者調ハ略ボ社會局ノ推定ト失業ノ定義ヲ

乃二千人未だ數ニ上るゝ處リマズ、之ニ依テ元見マスルト失業者ノ激増ノ傾向ガアリマシテコトハ認メテレマズガ、其増加ノ勢ビ加世間デ傳ヘテタルガ如キ著シキモノデナリマス、私ハ其當時更ニ申上ゲテ置キマシタ、誠ニ此失業統計ト社會局ノ調査、國勢調査ニ基礎ヲ置カレテ聞達ナイモノノダト御思ヒテナサレテ、社會政策ヲ御立てニナルト云フコトガ根本カラシテ、ソレハ御聞達アリル、社會局ノ調査ヤ國勢調査ノ調べト云フモノハ甚ダ杜撰ナモノデアルト云フコトニ付キマシテハ、當時詳細ニ申上ゲテアルノデアリマス、ドウカ内務大臣ハ單ニ社會局ヤ國勢調査ノ統計數字ノミデナク、實際社會ノ有リヤウヲバ、モット精査觀察サレマシテ、サエシテ中小失業者ノ如何ニモ疲弊シテ居ル狀態、失業者ノ續出シテ居ル實情ヲ能ク御理解下サルヤウニ希望イタシタイト思フテ居ルノデアリマス、次ニ失業救濟ノコトニ付キマシテ御解懸ガアリマシタ、述記錄ヌ、長きイモノモ御倦怠ト思ヒマスカラ、要領ヲ繪シテ申上ゲマスト云フ、今回、國道ノ改修ニ村テ内務大臣即チ主務大臣ガ直接ニ管理スルト云フコトハ却テ其方ガ有效適切デアルト思フカラヤッタノデアツテ、道路法ノ正文ニ依ラズ例外規定ニナケレバナラヌト云フ、憂フベキ問題トルト思タカラデアルト云フ、御釋明ガアリマシタ、尙又知識階級ニ付テノ、何トカシニ御用ヒニナシタト云フコトニ付キマシテハ、内務大臣ハ却テ其方が有效適切デアルト思タカラト仰みヤルケレドモ、私ノ尙云フコトニ付テモ、多少御理解ニナシタヤウト御答ヘアリマシタ、其當時ニ於テモ私ハ申上ゲマシタガ、道路法ノ例外規定ヲ此際特則ツタト云フノハ、却テ其方が有效適切デアルト思タカラデアルト云フ、御釋明ガアリマシタ、尙又知識階級ニ付テノ、何トカシニ御用ヒニナシタト云フコトニ付キマシテハ、内務大臣ハ却テ其方が有效適切デアルト思タカラト仰みヤルケレドモ、私ノ尙云フコトニ付テモ、多少御理解ニナシタヤウ

スガ、有效適切デアルド思タタクト云ハ監
護返シノ御答ニ接シモジタトハ甚ダ遠慮
デアルノデアリマス、併カガテ済シテ是バ
黨略ニ用ヒルノデバガキ、道路色々ガ万
ルケレドモ、決メテ府縣會議員ノ選舉等ニ
此道路問題ヲ利用シヤウト云フヤウチ考ヘ
無イ、斯ウ云フコトノ意味ヲ仰セラレマシ
タカラ、私ハ内務大臣ノ御言葉ヲ諒ト致シ
マシテ、此問題ニ付テハ彼レ此レ申シマセ
ヌ、唯、今後下ウ云フ風ナ處置ヲ御執リニ
ナルカト云フコトノ推移ヲ見ヤウト……謹
ニ觀ヤウト思フノデアリマス、唯此知識階
級ノコトニ付キマシテハ、クレムモ御願
ヒ致シタイコトハ、今回土木工事ノ費用並
ニ鐵道ノ工事兩様合セマスト云フト、約七
千万圓程ノ救濟費用ガ投ゼラレルノデアリ
マス、而シテ其七千万圓ノ中僅ニ六十三万
圓ト云フモノガ知識階級ノ救濟ノ方ニ向ケ
ラレテアルノデアリマシテ、アトノ六千何
マシタガ、此點ニ付キマシテハ尙ホ御高
ニ振當テラレルト云フコトハ、如何ニモ一
方ニ偏重スル嫌ヒガアリハシナイカト云フ
紹介所ノコトニ付テ段々御答ガアリマシ
タ、併ナガラ此社會現象ニ照シ合セテ見マ
シタ云フト、此職業紹介所ノ效果モ現實
ニ餘リ學テハ居ラヌノデアリマス、是ハ中
外商業ノ三月十四日ノ朝刊デアリマスガ
「專門紹介所モ持テ餘シタ知識階級學校出
ノ殺到スル今日此頃就職者百人中僅ニ二
人」ト云フ題目デ書イテアリマス、是ハ三月
十八日ノ朝刊讀賣アリマスガ、「アブレ
勞働者群江東繪紹介所ニ暴行、過般ノ大島
町ノト一脈ノ連絡首謀者六名懲戒サル、大
變ナ騒ギマジテ趣シテ、アブレ勞働者ノ群ガ
騒音不セ居リマス、是ハ都ノ三月十七日ノ朝
刊デアリマス、ガ一地方ガチ且竟希望ノ少年

業紹介所ヲバ増加サレマシテ、成ベク多ク
ノ人ニ職ヲ與ヘルヤウニ御骨折ニナッテ居
カソレガ潤澤ニハ參テ居ラヌノデアリマ
ス、尙ホ先程申落シマシタケレドモ、此公
設質屋ノコトニ付キマシテ更ニ一言申添ヘ
テ置キタイト思ヒマスルガ、是モ誠ニ如何
ニモ此悲慘ナ世ノ中ノ状況ヲバ映シ出シテア
ルト私ハ思ヒマスガ、都ノ三月十四日ノ朝
刊ニ「質草モ盡キカ市設質屋闇散質草ハ
商賣道具バカリ」店ヲ開イテ居リマシテモ、
質草ガ無クナツタ見エテ質屋ガ閑散ナ狀
態ニナツテ居ル、質ヲ置キタクテ質草モ無
クナツテ居ル、誠ニドウモ悲慘ナ状態デアリ
マス、斯様ナ次第デアリマシテ、此政府ノ
施設サレマシタ諸點ニ付キマシテハ、今日
マダ見ルベキ效果ガ擧ゲテ居ラヌノデア
リマス、尙又一面、只今マデニハ、私ガ過
誤質疑ヲ致シマシタ時ニ、國務大臣ノ御答
付得マシテ、ソレニ對シマシテ更ニ應答イ
タシマシタ頃末ヲ皆様ノ前ニ展開フシテ、
皆様ノ御批判ヲ待ツ次第デアリマスガ、當
時、私ノ質疑ノ中ニ、農林大臣、文部大臣、
太藏大臣ノ御所管ニ觸レタ部分モアツノ
デアリマスガ、未ダソレ等ノ各大臣ノ御答辯ニ
說ノ初メノ方ト終リノ方ト二度、斯様ニ申
ハ去月二十五日ニ質疑ヲ致シマシタ時ニ、當
時、大臣府ニ御不參ニナツテ居リマシタ諸大臣
モ多イコトデアリマシタカラ、私ハ質疑演
ノ御答へ近キ機會ニ於テ得タイト思フ、併
シ若シ御答ガ無カタナラバ、ソレハ私ノ申

上ダタコトヲ御肯定下サシタモノト御認メ申上ダマスト云フコトヲ念ラ入レデ演説ノ初メノ方ト終リノ方ニ二度、申上ダテ置イタノデアリマスカラ、今日マデ農林大臣、文部大臣、太藏大臣ノ御答ニ接シマセヌト云フコトハ、私ノ申上ゲタコトヲ御肯定下サシタモノト、私ハ御認メ申上ゲルヨリ外、途ガナインデアリマス、以上ハ私ト各國務大臣トノ間ニ質疑應答イタシマシタル顧末デアリマス、之ニ付キマシテ公正ナル皆様ノ御批判ヲ仰ギマシテ、如何ニ今日ノ時代ガ、昨年五月建議案ヲ提出イタシマシタ時ニ比ベテ見マシテ、世ノ中ノ不景氣ガ其度ヲ高メ、中小産業者ノ疲弊ガ甚シキヲ加ヘ、失業者ノ數ガ少シモ減退ラシテ居ラナイト云フ事實ヲ、如何ニ御判定ニナルカ、是ハ皆様ノ御考ニ待タウト思フノデアリマス、尙ホ他ノ方面ヨリ、所謂社會ノ耳目タル各新聞紙ノ報道ニ依ツテ社會ノ狀勢ヲ察知シマスル一ツノ参考トシテ申述ヘタイ思ヒマス、是ハ三月七日ノ東京朝日ノ朝刊デアリマスガ、題目ハ「悲慘ナ大工ノ失業狀態、賃雪搔ニモ劣ルヤウナ賃銀デ満足シナケレバ銀ハ雪力キニモ劣ル、建築學會ノ調査誠ニドウモ世ガ世デアリシタナラバ、大工ノ棟梁トモ其方面ノ者ニ仰ガレテ居ル親方モ、雪搔ニモ劣ルヤウナ賃銀デ満足シナケレバナラナイ、斯様ナ狀態デアリマスカラ、單リ大工ニ限リマセヌ、熟練職工ハ段々地ヲ拂拂テ行クデアラウト私ハ思フノデアリマス、是モ都ノ三月九日ノ夕刊デアリマス「最近失業ノ都ニ地方家出入ノ洪水、農村不況ノ深刻ナ反映、内三分ノ一ハ女」、是モ農村ノ不況ノ反映ガ寫シ出サレテ居ルノデアリマス、東京朝日ノ三月十七日朝刊「一万二千人ノ哀レナ缺食兒童ニ市教育局ノ惱ミ、本社カラ鞄ト帽子ヲ給與」トアッテ大變ナ殊勝ナ御心掛デアリマス、兎ニ角、斯ウ云フ缺食兒童ガ一万二千人モ居ルト云フ哀レナ狀態デアリマス、サウカト思フト誠ニイヤナ事ヲ御耳ニ達シマスルケレドモ、是ハ東

京日日ノ夕刊、三月十七日ノ夕刊デアリマスガ、皆サン御覽ニナリマシテ暗然トシテ涙ヲ催サレタラウト思ヒマスルガ、斯ウ云フ題目デアリマス、「オモチヤノ刀サシテ母ニ負ヘレ弟ト死ヌ、十姊妹カラ二兒ヲ道連れニ吾妻橋カラ身ヲ投ゲ」ト云テ親子心中ノ報道ガ出テ居リマス、是ハ各新聞ニ皆出テ居リマス、斯ウ云フヤウナコトモ社會ノ現實ナル社會世相ニ鑑ミマシテ、私ハ斯様ニ断言シテモ差支ヘナイト思ヒマス、即チ貴族院ガ昨年五月十四日ノ中小産業者竝ニ失業者ノ救濟ニ關シマスル建議案ヲ上程イタシマシタル時ヨリモ、世ノ中ハ益不景氣ガ深刻ニナリマシテ、中小産業者ノ疲弊ハ益々其度ヲ高メ、失業者ハ益々現出シテ、底止スル所ヲ知ラナイト云フ有様ニナッテ居ルト云フコトヲ申シマシテモ間違ヒハナイデアラウト私ハ思フノデアリマス、扱又此ノ内閣ノ政策ノ一枚看板トモ申スベキ減税法案、地租改正法案、只今貴族院ノ特別委員會ニ掛テ居リマスルガ、是モ私ハ國民ノ負擔ノ輕減ヲ圖ラレル御政策デアリマスルカラ、移シテ以テ中小産業者ノ矢張リ負擔輕減ニナル次第デアリマスカラ、中小産業者ノ疲弊セル狀態ニ鑑ミマシテ誠ニ結構ナ御政策デアルト私ハ讚美イタスノデアリマス、併ナガラドウヤラ最近貴族院特別委員會ノ模様ヲ仄聞イクシマスト云フト、委員ヨリノ質問ニ依リマシテ、海軍ノ補充計画ノ財源ガ近キ將來不安デアルト云フヤウナ事實デ、又宅地租ニ付キマシテハ今日ヨリモヨリ高イ増稅ニナルト云フヤウナ節モアル、又一般ノ商工業者ナドニ對シマシテ、福音トモ稱スベキ營業収益稅ノ負擔輕減モ沟ニ雀ノ涙位ナモノシカ贏チ得ナイト云フヤウナ狀態デ、一體此減稅法案ハ減稅法案デアルノカ、增稅法案デアルノカ、下ウモ正體ガ分ラナイト云フヤウナコトデ、特別委員會ハ質問百出渾沌狀態ヲ呈シテ居ルト云フコトデアリマス、私ハ直接ニ特別委員

デハゴザイマセヌカラ、ツレハ確信ハ致シ
所ガ貴族院ノ特別委員會テ此減稅法案ニ對
シマシテ、何ヤラ不評判ノ聲ガ噴シスキ折
柄、世間ハドウデアルカ、斯ウ申シマスト
云フト、世間ニ於テモ大分反對ノ聲ガアリ
マス、是ハ三月十九日ノ夕刊中外商議デモ
斯様ナ題目デアリマス「警察連帶支辨金減
額反對」是ハ其、救護法實施財源ノ一部トシ
テ東京府警察費連帶支辨金百万圓減額案ハ
目下衆議院ニ於テ紛糾ノ昭和六年度追加豫
算ニ含マレテキルガ、コレガ兩院通過ノ曉
ハ、東京府市民ニトシテハ負擔ノ過重ヲ來ス
コトニナリ、連帶支辨金ノ國庫負擔増額ハ
府會數年來ノ懸案デ通常府會開會毎ニ決議
ヲシテ政府當局ニ陳情ヲ續ケテキルニ拘ラ
ズ、今回斯ル處置ニ出タノデ、コレガ反對
運動ヲ起ス爲メ二十日午後一時ヨリ府會全
員協議會ヲ開イテ、本案ニ反對ノ決議ヲ爲
シ政府當局竝ニ貴衆兩院ニ陳情極力阻止ニ
努メルコトニナシタ是ハ直接減稅案ニハ闘
係ハアリマセヌケレドモデス、國民負擔ノ
輕減ヲ叫ンデ居ル今日ニデス、救護法ノ實
施ハ洵ニ肝要、必要ナコトデアリマスルケ
レドモ、ソレガ爲ニ治安警察ノ上ニ於テ大
切ナル費用ヲ削減サレルト云フコトハ、一
面ニ於キマシテ、洵ニ市民ト致シマシテハ
不安ノ情ヲ起サザルヲ得ヌ次第デアリマス、
而シテ警察ノ手薄ヲ其儘ニ致シテ置ク譯ニ
ハ參リマセヌカラ、愈、サウナシタ曉ニハ、矢
張リ順繰リ廻テ國民ノ負擔ノ增加ト云フ
コトニ結局相成ル次第デアリマス、同様ニ
是ハ一昨日デアリマシタカ、東京府會議員
有志、東京市會議員有志ト云フ連名デ、我
我貴族院議員ノ整室ニ配付セラレタノデア
リマス、例人ガ之ヲ頒布シタノデアルカ、
何人ガ筆ヲ執テ此文章ヲ書イタノデアル
カ一向不明デアリマス、併ナガラ私ハ斯様
ニ思ヒマス、人ヲ以テ言ヲ捨テズト云フコ
トハ昔ノ賢者ノ言デアリマス、アノ人方言

其人ノ言フ言葉ヲ一切耳ニ入レヌト云フヨ
ドハ甚ダ不量見ダト思ヒマス、負フタ子ニ
淺瀬ヲ教ハルト云フコトガアリマス、頑是
ナキ子供ニ川ノ淺瀬ヲ教ハルト云フコトガ
アリマス、人ヲ以テ言ヲ捨テズ、私ハ其意
味ニ於キマシテ、何人ノ綴タモノデアルカ
分リマセヌケレドモ、配付サレタル紙片ヲ
見マスト云フトデス、矢張リ此減税法案ニ
關係ヲ持ツ所ノモノデアリマス、チヨト要
點ヲ讀ンデ見マス、「東京市民ニ急告」減税宣
傳「政府ハ今議會ニ地租改正案ヲ提出シ
テ、政府デハコレア減税案ト言フテギルガ、
ザイマセヌカラ致シ方ゴザイマセヌ、有リヤ
ウニ御紹介イタシマス、「減税トハ欺瞞宣
傳」政府ハ今議會ニ地租改正案ヲ提出シ
タ、政府デハコレア減税案トナル、減税ナドト
成ルホド田畠ノ地租ハ多少減スルガ、宅地
租ハ驚クベキ増徴デ、コレガ爲ニ都會ノ住
民ハ非常ニ苦シム結果トナル、減税ナドト
ハ全グノ欺瞞デ東京府市ナドデハ非常ノ增
稅デアル」次ハ「東京市民ノ大増稅」ト云フ
題目デ、「今迄地租ト其ノ附加稅ト合セテ、
東京市民ハ三百六十九万八千二百四十六圓
ヲ納メテギタノガ、今度一千〇十三万八千
四百二十圓ヲ納メバナラヌコトニナルノ
デ、今度ノ改正ニ依テ、實ニ六百四十四万
圓以上ノ増徵トナリ、之ヲ一戸當リニスレ
バ一戸十六圓餘ノ増稅トナルノデアル、又
東京府ノ宅地租及其ノ附加稅ノ増稅ハ、實
ニ九百七十八万圓ニ達シ、一戸當リ九圓ニ
近不增稅トナルノデアル」熟思ヒマスニ、
昭和六年度ニ於キマシテ、アノ減稅法案ガ
ト云フト差引零ニナレバ宜イ位ナモノデア
リマス、サマス、一面ニ於テハ減稅デアリマスウケレ
ドモ、一面ニ於テハ多大ノ増稅ニナルノデ
貴族院ヲ通過イタシマスレバ、昭和六年度ニ
於キマシテハ、九百何万圓バカリ減稅ニナ
ルト云フコトデアリマスルガ、是デ見マス
レドモ、一面ニ於テハ多大ノ増稅ニナルノデ
アリマス、次ニ「警察費ノ削減ハ不安」ト是モ同

様ナコトヲ申シテ居リマス、「マタ今度政府ハ
救護法ヲ實施スルコトトナツタガ、昭和七年
度カラ先キノ財源ノ一部トシテ、是レマデ國
カラ東京府ヘ下ゲ渡シテキタ警察費ノ中力
ラ、百十七万圓ダケ減スルコトニナル、全國
ノ窮民ヲ救フ救護法ノ實施ハ、我ニガ熱心
ニ叫ンダガ、政府ハ財源ガナイトテ今日マデ
引キ延バン、漸ク今ニナツテ不完全ナ少額ナ
実施ヲスルコトニナツタ、然カモソノ財源ハ
當然他ニ求メル筈ノモノヲ、其ノ金ノ大部
分ヲ東京ガ負擔スル譯デアル、救護法ノ實
施ハ我ミノ主張ダガ、ソノ重荷ヲ東京ニ嫁
セラレルノハ不當デハナイカ、ソノ結果東
京府ノ警察費ガ削減モサレルコトニナツ
タラ頗ル不安デアル」次ニハ「生キル爲メニ
稅ヲ納メルノカ、稅ヲ納メル爲メ生キテ
キルノカ」と云フ題目アリマス、「ノ問題
ニ縫著セシメタ、コノ改惡ノ地租改正案ハ
衆議院デハ、民政黨多數横暴ノ力デ無理押
シニ通過セシタガ、貴族院ハ今ヤ自熱的
論戰ノ最中デアル」次ハ「府市民諸君ノ奮起
ヲ望ム」「東京府、東京市ノ諸君ハ、コノ際
生活ノ爲メニ奮起スベキ秋デアル、一刻遲
クレテハ取り返ヘシノツカヌコトナル、
直ニ起テ自己生活ノ擁護ヲ計ルベキデアル」
「東京府會議員有志、東京市會議員有志」
果シテ東京府會議員有志方出シタノカ、東
京市會議員有志ガ出シタノカ、ソレハ直ニ
私ハ信ズル譯ニハ行キマセヌガ、鬼ニ角私
ハ國民ノ聲デアルト思フノデアリマス、否、
天ノ聲デアルト思フノデアリマス、天ハ口
ガアリマセヌカラ民ヲシテ叫バシメルノデ
アルト私ハ思フノデアリマス、私ハ是等ノ
國民ノ聲ヲ参考トシテ、減稅法案ニ付キマ
シタ通リ福音デアリマス、ドノ位中小產業
者ノ頭ニ負擔ガ輕減サレルカト、斯ウ申シ
デアリマスガ、兎モ角モデス、減稅ト云フ
コトハ中小產業者ニ取リマシテハ前申シマ
シタ通リ福音デアリマス、ドノ位中小產業

申上ガルマデモナク營業収益稅ニアリマス、併ニガラ其金額ハ昭和六年度ニ於キマシテ僅ニ百二十一萬餘圓デアリマス、平年度ニ於キマシテ四百六十一萬圓デアリマス、之ヲ昭和六年度ノ營業収益稅ノ豫定收入額四千五百万圓ニ對比シマスレバ、一割減トナルノデアリマス、併ナガラ一千圓ニ満タナイ所ノ納稅者ニ於キマシテハ、大概ハ帳簿等ガ不揃ヒデアリマスルガ爲ニ、見立徵稅ヲサレルノデアリマス、デアリマスカラ實際ニソレ等ノ稅率ダケノモノガ、低減セラレルカドウカ甚ダ疑ハシクナルノデアリマス、尙ホ又府縣ニ於テハ御承知ノ通り、府縣ノ財源ニ不足ヲ來シク時ニハ、所謂制限外ニ徵收サレル規定ガアリマスノデ、今日ハ府縣ノ財政窮乏ノ折柄デアリマスカラ、或ハ戸數割ニ依リ、或ハ家屋稅ニ依リ、ソレ等ノモノニ依テ徵收ヲサレタナラバ、一面ニ於テ減稅サレテモ寧ロソレヨリモ多イモノガ賦課サレルト云フヤウナコトガ出来ヤシマイカト、私ハ思ハレルノデアリマス、尙本地租ノ方ニ於テハ前申上ゲマシタ通リニ宅地租ガ異常ナル增稅ニ相成ルヤウナ次第デアリマシテ、ソレ等カラ見マスト、此稅法案ト云フモノガ減稅案デアルカ増稅案デアルカ、増減稅法案ト言フタ方ガ事ノ正鶴ヲ得タモノノヤウニ考ヘラレルノデアリマス、元來現政府ハ其根本政策ニ於テ、中小產業者ノ疲弊、失業者ヲ續出スルコトヲ招來スルヤウナ……招來スルノニハ誠ニ都合ノ好イヤウナ政策ヲ實行セラレテ居ルト思フノデアリマス、決シテ政府當局ニ於テハ、好ンデ失業者ヲ造り、好ンデ果カラ見マスルト、失業者ヲ製造シ、中小產業者ヲ疲弊ニ陥ラシメルト云フヤウナ、サウ云フ御心ハ萬ナイコトハ、中上ガル迄モナイコトデアリマスケレドモ、其結果カラ見マスルト、失業者ヲ製造シ、中小產業者ヲ疲弊ニ陥ラシムルヤウナ政策ヲナス、^ヌテ居ラレルノデアリマス、而シテ初メノス

私ハ忍ベルト思フノデアリマス、消極政策アレバ、工夫ヲスルバ現狀ノ維持ガ出来ルノデアリマス、併ナガラ今ヤ消極政策カラ深入リサレテ緊縮政策ニナリ、緊縮政策ヲ去^シテ、今ハ萎縮政策ニ移^シテ居ラレルノデアリマス、緊縮政策デアレバ、一方ニ縮マリマシテモ亦一方ニ伸ビルノ餘裕ガアリマス、ガ萎縮政策ニナリマシテハ、龜ノ子ガ頭ヤ手足ヲ甲ノ中ニ入レルガ如クニ、四方八面カラ縮ム一方デアリマスカラ、四方八面ニ行詰リヲ生ズルト云フコトハ、是ハ明カナコトデアリマス、能ク昔ノ言葉ニ、伸ビムト欲スレバ先ヅ届セヨ、誠ニ左様デアリマセウ、併ナガラ届スルノモ程ガアリマス、今日ハ届シテ届シテ居^シテ、何時マデ届シタラバ宜イノデアラウカ、縮ミ切^シテ居ルガ、尙ホ此上ニ縮マナケレバナラナイノカ、我ニ國民ハ最早此以上届スルコトモ縮ムコトモ出來ナイト思フノデアリマス、何トカ此政策ノ打開ヲ望マザルヲ得ヌノデアリマス、ドウシテモ此經濟國難ヲ打開スル所ノ……更新サレタル所ノ政策ヲ立^テ御貴ヒ申サンケレバナラヌノデアリマス、左様ナ次第デアリマシテ、我ニハ四方八面ヨリモ考察イタシマシタケレドモ、昨年本院ヲ通過イタシマシタ中小産業者竝失業救濟ニ忍ビナイ狀態ニナ^シテ居ルノデアリマス、而シテ相變ラズ失業者ノ洪水ハ底止スル所テ見マスルト、世ノ中ノ不景氣ハ益^シ深刻ニナリ、中小産業者ノ疲弊ハ誠ニ正視スルニ關スル建議案提出ノ當時ト、今日ト比ヘテ見マスルト、世ノ中ノ不景氣ハ益^シ深刻ニナリ、中小産業者ノ疲弊ハ誠ニ正視スルニ忍ビナイ狀態ニナ^シテ居リマセウケレドモ、御苦心ハニナ^シテ居リマセウケレドモ、現實的ニ茲ニ何等ノ效果ヲ擧ゲ得ナイ以上ニル所ノ社會ノ實相ヲ捉ヘマシテ、而シテ政府ハ御苦心ハニナ^シテ居リマセウケレドモ、昨年以來政府ノ執ラレタ所ノ政策措置ト云フモノガ其宜シキヲ得ナイモノデアルト云ヲ知ラヌト云フ有様デアリマス、此現實ナル所ノ社會ノ實相ヲ捉ヘマシテ、而シテ政府ハ甚ダ申上ゲニクイコトデアルケレドモ、ナラヌト思フノデアリマス、ドウカ皆様ニ

於ガレマシテモ、昨年五月貴族院建議案ニ御賛成ニナクタ所ノ諸君ハ、終始一貫、其因果關係ニアル所ノ此決議ニ對シマシテモ、 滿場一致ヲ以テ御賛成アラムコトヲ希望シテ已マヌ次第デアリマス	○議長(公爵徳川家達君) 休憩ヲ致シマス、午後一時三十分ヨリ開會イタシマス、午後零時六分休憩
○副議長(公爵近衛文麿君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス	午後一時五十一分開會
〔讀古書記官朗讀〕	〔土方寧君演壇ニ登る〕
本日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ	○土方寧君 私ハ昨年ノ議會ニ今回ト同様ノ決議案ガ上程セラレマシタ時ニ、自席カラ簡單ニ反對ノ意ヲ表シテ置キマシタ、其時ニハ十分ニ理由ヲ御話シ申上ゲマセナカッタ、此度ノ決議案ハ我ガ同僚ノ信任スペキ十五名モノ御發議デ百十何名ノ御賛成デ總計百二三十人ノ御主張ガ現ハレテ居ルモノデアリマシテ、最モ尊重スペキモノダト考ヘマスガ併シ此決議案ノ内容ニ付テ伺ヒマス所デハ、何分ニモ今回モ此儘デハ贊成ヲ表シ兼ネマス、現在我國ノ經濟界ガ疲弊困憊、不況ニ陥テ産業ハ振ハズ、從テ失業者ハ出來、單リ中小商工業者ノミナラズ農民モ生活ヲ脅カセレテ居ルノデアリス、是ハ天下周知ノ事實デアリマシテ、出来ルダケ産業モ振興シ、從テ失業ヲ防止シ、農業者モ工商業者モ生活ノ安定ヲ得ル云フコトデアリマスマイ、能ウベケンバ何カノ救濟ヲ施シテ此不況ヲ好轉セシメ、是人ト雖モ之ヲ此儘ニ放任シテ置イテ宜イトヤウニ努メナキヤナラヌ譯デアリマス、是トハ決シテ一朝一夕ノコトデハナイト考ヘマス、我國ニ於キマシテハ世界的戰爭中ニ異常ノ好況ヲ呈シマシテ、之ガ爲ニ基礎薄弱ナル諸種ノ生産組織ト云フモノガ濫設セラレマシタ、ソレデモ戰爭中ハ大イニ利益ヲ得ルコトガ出來マシタガ、是ハ一時限りノコトデアリテ、戰爭ガ終戻シマシタナラバ、サウ云フ好況ヲ持続スルコトハ出來ナイト
船舶積量測度法中改正法律案 著作権法中改正法律案 労働組合法案特別委員會	本日委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ
委員長 子爵前田 利定君 副委員長 安立 綱之君 昭和四年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ) 明治四十二年法律第二十二號中改正法律案特別委員會	本日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ
委員長 公爵鷹司 信輔君 副委員長 男爵中島久萬吉君 求ムル件特別委員會	本日委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ
委員長 森 賢吾君 種忠君	本日委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

○副議長(公爵近衛文麿君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、土方寧君	〔土方寧君演壇ニ登る〕
○副議長(公爵近衛文麿君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、土方寧君	○土方寧君 私ハ昨年ノ議會ニ今回ト同様ノ決議案ガ上程セラレマシタ時ニ、自席カラ簡單ニ反對ノ意ヲ表シテ置キマシタ、其時ニハ十分ニ理由ヲ御話シ申上ゲマセナカッタ、此度ノ決議案ハ我ガ同僚ノ信任スペキ十五名モノ御發議デ百十何名ノ御賛成デ總計百二三十人ノ御主張ガ現ハレテ居ルモノデアリマシテ、最モ尊重スペキモノダト考ヘマスガ併シ此決議案ノ内容ニ付テ伺ヒマス所デハ、何分ニモ今回モ此儘デハ贊成ヲ表シ兼ネマス、現在我國ノ經濟界ガ疲弊困憊、不況ニ陥テ産業ハ振ハズ、從テ失業者ハ出來、單リ中小商工業者ノミナラズ農民モ生活ヲ脅カセレテ居ルノデアリス、是ハ天下周知ノ事實デアリマシテ、出来ルダケ産業モ振興シ、從テ失業ヲ防止シ、農業者モ工商業者モ生活ノ安定ヲ得ル云フコトデアリマスマイ、能ウベケンバ何カノ救濟ヲ施シテ此不況ヲ好轉セシメ、是人ト雖モ之ヲ此儘ニ放任シテ置イテ宜イトヤウニ努メナキヤナラヌ譯デアリマス、是トハ決シテ一朝一夕ノコトデハナイト考ヘマス、我國ニ於キマシテハ世界的戰爭中ニ異常ノ好況ヲ呈シマシテ、之ガ爲ニ基礎薄弱ナル諸種ノ生産組織ト云フモノガ濫設セラレマシタ、ソレデモ戰爭中ハ大イニ利益ヲ得ルコトガ出來マシタガ、是ハ一時限りノコトデアリテ、戰爭ガ終戻シマシタナラバ、サウ云フ好況ヲ持続スルコトハ出來ナイト
船舶積量測度法中改正法律案 著作権法中改正法律案 労働組合法案特別委員會	本日委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ
委員長 子爵前田 利定君 副委員長 安立 綱之君 昭和四年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ) 明治四十二年法律第二十二號中改正法律案特別委員會	本日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ
委員長 森 賢吾君 種忠君	本日委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

○副議長(公爵近衛文麿君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、土方寧君	〔土方寧君演壇ニ登る〕
○副議長(公爵近衛文麿君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、土方寧君	○土方寧君 私ハ昨年ノ議會ニ今回ト同様ノ決議案ガ上程セラレマシタ時ニ、自席カラ簡單ニ反對ノ意ヲ表シテ置キマシタ、其時ニハ十分ニ理由ヲ御話シ申上ゲマセナカッタ、此度ノ決議案ハ我ガ同僚ノ信任スペキ十五名モノ御發議デ百十何名ノ御賛成デ總計百二三十人ノ御主張ガ現ハレテ居ルモノデアリマシテ、最モ尊重スペキモノダト考ヘマスガ併シ此決議案ノ内容ニ付テ伺ヒマス所デハ、何分ニモ今回モ此儘デハ贊成ヲ表シ兼ネマス、現在我國ノ經濟界ガ疲弊困憊、不況ニ陥テ産業ハ振ハズ、從テ失業者ハ出來、單リ中小商工業者ノミナラズ農民モ生活ヲ脅カセレテ居ルノデアリス、是ハ天下周知ノ事實デアリマシテ、出来ルダケ産業モ振興シ、從テ失業ヲ防止シ、農業者モ工商業者モ生活ノ安定ヲ得ル云フコトデアリマスマイ、能ウベケンバ何カノ救濟ヲ施シテ此不況ヲ好轉セシメ、是人ト雖モ之ヲ此儘ニ放任シテ置イテ宜イトヤウニ努メナキヤナラヌ譯デアリマス、是トハ決シテ一朝一夕ノコトデハナイト考ヘマス、我國ニ於キマシテハ世界的戰爭中ニ異常ノ好況ヲ呈シマシテ、之ガ爲ニ基礎薄弱ナル諸種ノ生産組織ト云フモノガ濫設セラレマシタ、ソレデモ戰爭中ハ大イニ利益ヲ得ルコトガ出來マシタガ、是ハ一時限りノコトデアリテ、戰爭ガ終戻シマシタナラバ、サウ云フ好況ヲ持続スルコトハ出來ナイト
船舶積量測度法中改正法律案 著作権法中改正法律案 労働組合法案特別委員會	本日委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ
委員長 子爵前田 利定君 副委員長 安立 綱之君 昭和四年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ) 明治四十二年法律第二十二號中改正法律案特別委員會	本日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ
委員長 森 賢吾君 種忠君	本日委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

ダケデ、自分が代々テヤルト云フ積極的ノ主張ガアリマセカラ、ソレダカラ、私ノ考デハ、此決議案ガ無意味ト思ヒマスカラ贊成イタシマセス、序デナガラチヨット申シタイコトガアリマス、會期切迫ノ今日長ク時ヲ費スコトハ出来マセヌメテ結論ダケ申シマスガ、私ノ考ヘマス所デハ、現代ノ物質的利己的資本主義產業組織ト云フモノハ、產業革命以來、百年餘ノ経験ニ徴シマシテ、決シテ今後此健デ持續スルコトが出来ルモノデナイ、是无缝直サナケレバナラヌトと思セマス、此儘デハ國內ニ於キマシテハ、何レノ國デモ登録ノ報酬ハ免レマセヌ、勞働法案ノ時ナラ申上ダスマスガ、今ノ所デハ労働者ト云アゼノハ始ド機械ノ一部分ノヤウニ使ハレテ居リマス、ドウシテモ労資方網取スル限りハ、好景氣ニハナレマセヌ、是ハ畢竟資本階級ノ利益主義カラ起シタモノデアリマス、是ハ英吉利ノ產業革命ノ歴史ヲ観察ニナレバ分サマス、ドウシテモ利益分配主義ニ依ラナケレバナリマセヌ、「プロフキット・シエヤーリング・システム」「アロフキット・シエヤーリング・システム」、國際貿易ニ於キマシテモ、何處ノ國デモ、自國ノ生産ヲ多量ニ世界到ル所ニ分配シテ……何レノ國モサウ思フ、自分ノ國デハ自分ノ自國品ヲ使ヒ、サウシテ澤山作ッテ澤山賣ラウ、ドノ國デモサウ考ヘテ居ルガ、他國ノ品物ヲ賣ハナイ爲ニ城壁ヲ高クスル、サウ云フ經濟戰ヲヤッテ居シテモ、何レノ國モ満足ニ通商ハ出來ルモノデハアリサル、不戰條約ヲシテモ戰ヲセヌト云フ譯和運動ガアリマスケレドモ、是ハホンノ形武タケノコトデアーテ製艦競争ヲ避ケル爲アル、戦ヲ廢棄スル譯デハナイ、必要ノ場合ニナムト動クノ尤モデアリマス、歐羅巴ノ世界戰争ト云フモノヲ今一回緯返シマ

シタナラバ歐羅巴ノ文明へ潰レテシマウ、現ニ一圓ノ戰争デ殆ド潰レテシマタ、ソレニ驚イテ起シタノガ平和運動デアリマスカ、併ナガラ戰争ノ原因ヘ現代デハ經濟戰デアリマス、ソレダカラ私ノ考デハ各國ノ獨自ノ事情ヲ考慮シマンタ上ニ、生産原料ト云フモノノ配給ト、生産分配ト云フコトニ付キマシテ、世界ノ重モナ產業國ノ間ニ協定ガ出來ナケレバ、各國ノ通商貿易ヲ圓満行フコトハ出來ナイト思ヒマスガ、其譯文ハ詳シク申シマスト非常ニ長クナリマスカラ今日ハ申上ゲマセスガ、ソレガ根本ノ問題デアリマス、目前ノ我國ノ不況ヲ打破スルト云フコトニ付キマシテハ、是非トモ出来ルダケシタイト思ヒマスガ、何トシテモ何人ガ局ニ當シテモ思フヤウニ、人爲的ニ不況ヲ轉ジテ好況タラシムルト云フコトハ、決シテ出來ヌト思フ、具體的ニ案ヲ示シテドウシタラ出來ルト云フコト、ソレヲ伺フコトガ出來マセヌカラ反對デアリマス

〔男爵藤村義朗君演壇ニ登ル〕

ノ建議案ノ文句ニ比ベテ見マスレバ、同ジ意味ノ事柄デモ決議案デアルダケニ、其輕重實嚴ニ大ナル差ガアルヤウニ看取セラレルノデアリマス、私ハ今日我國ノ情勢ニ於キマシテ、本案ノ提出サレマシタコトガ實ニ偶然ニアラズト信ジマスルガ故ニ、午前中提出者ノ林伯爵及ビ贊成者ノ前田子爵カラ詳細ナル御説明ガアリマシタガ、出來ルダケ簡單ニ私ノ趣旨ヲ述べマシテ此處ニ贊意ヲ表シタイト思フノデアリマス、私ハ昨年決議案ガ提出サレマシタ際、政府ノ對策ニハ殆ド何等、當時ニ於テモ見ルベキモノナク、故ニ一層適切ナル施設ノ必要ヲ感ジマシテ、深ク將來ヲ憂慮シテ贊意ヲ申述べタノデアリマス、然ルニ爾後ニ於ケル推移發展ニ見テ見マスルノニ、財界ノ悪化、深刻化ハ益々適當ナル對策ノ必要ノ度ヲ増シテ居リマスルニモ拘ラズ、政府ハ依然トシステムノ殆ド無爲無策ノ狀態ヲ續ケテオ出テニナルノデアリマス、昨年ノ私ノ憂ヘガ杞人ノ憂ヘニ終ハラズシテ、今日此處ニ再び貴族院ノ憂ヘトナツテ現ハレマシタコトヘ、如何ニモ外ニ存ジ遺憾ニ感ズル次第デアリマス、我ガ中小產業者ガ今日ノ如ク踵ヲ接イデ殆ド沒落ノ悲境ニ陥リ、失業者ノ數ガ益々増大ノ傾向ニアリマスコトハ、經濟界不況ノ爲トハ申シナガラ甚グ困クコトデアリマス、此不景氣ノ依テ來リマシタ原因ハ、決シテ只今モ土方博士モ仰セラレマシト存ジマスルガ、如何トモスルコトガ出來ナイ不可抗力ノ原因ノミデハナインデアリマス、ソレハ世界的ノ不況ノ影響モアリマセウ、或ハ又土方博士ガ詳細ニ御述ベニナリマシタ通り、我ガ經濟組織及經營ノ元來ノ缺陷モアリマセウ、或ハ又我國ノ自然的環境ニ依テ生ジマシタ國民經濟ノ特殊ノ事情モゴザイマセウ、ナレドモ現内閣ノ成立以來執ラレ來リマシタ所ノ財政及經濟政策ガ、直接不況ノ原因ノ大ナル分前ヲ有テ

居ルト云フコトハ、今日ニ於テハ既ニ否定
スルコトノ出來ナイ事實デアルト私ハ考ヘ
ルノデアリマス、即チ其主ナルモノヲ申上
ゲマスレバ、金解禁ニ依テ貨幣價值ノ騰貴
ガ物價財産或ハ債權債務、其他此價値ノ存
スル所ノ全部ニ及ボシマシタ動搖影響ニ對
シマシテ、政府ノ對策準備ガ其當ヲ得テ居
ラナカツタ云フコトガ其一ツデアリマス、
又政府ノ財政政策ガ今日マデ極メテ不徹底
不合理デアッタ云フコトガ其二ツデアリ
マス、消費節約ノ根本觀念ガ誤シテ居リマシ
テ、其宣傳ニ依テ國民ノ消費ヲ不當ニ抑壓
シマシテ正常ナル消費力ヲ激減セシメタト
云フコトガ其三ツデアリマス、政府ガ一昨年
以來經濟界ノ觀測豫察ヲ誤シタ云フコト
モ其一ツデアリマス、又財界匡救ノ對策ガ
既ニ民間ニ於キマシテモ、亦當議場ニ於キ
事每ニ一時的ノ糊塗彌縫ヲ專ラニシテ、又
局部的ノ救濟ノミニ終始シテ居ラレルト云
フコトガ是亦其一ツデアリマス、是等ハ皆
思ヒマスガ、唯一點匡救ノ對策ニ村キマシ
テ、其一端ヲ擧ゲテ申セバ、金融ニ關スル
對策ニ付キマシテハ、預金部ノ資金融通以
リマスノデ、今更之ヲ繰返ス必要モナイト
外ニ、政府及日本銀行ノ斡旋ニ依テ融資聯
盟ヲ組織サセルトカ、或ハ行詰リノ事業會
社救濟ノ爲ニ、特殊銀行ヲシテ、資金ヲ融
通セシメルトカ、或ハ又株式暴落ノ喰止策、
公債市價ノ維持策、單名手形ノ緩和貸付ト
云フガ如キ、何レモ一時表面ノ彌縫、破綻
暴露ノ防止ニ過ギナイ、却テ禍根ヲ將來ニ
貽スモノ、ミガ多ク、而モ大部分ハ政府ノ
位置及權力ヲ調節、組織經營ノ改善、企業ノ統制
等ヲ唱ヘテハ居ラレマスケレドモ、其結果
或ハ生産ノ制限、販賣協定、價格協定、或
ハ又共同管理ト云フ如キモノトナツテ現ハ

マス、斯ノ如キコトガ有效ニ救濟ノ目的ヲ達シ得ラレルヤ否ヤ、既ニ失業救濟ヲ目的トスル土木事業ナドニモ、モウ幾多ノ惡事醜聞ガアルコトガ開エテ居ルノデアリマス、政府ハドウ云フ組織、横關ノ運用ニ依ラテ、遺憾ナク此救濟事業ノ遂行ヲ實務的ニオツテ居ラレルノデアリマスルカ、又トウシテ救濟ノ最高能率ヲ擧ガツ、アルノデアリマスカ、是等ニ關シテハ唯漠然タル御説明ノミデ、何等私共闇ク所ガナインデアリマス、又一方ニ於キマシテハ失業救濟ハ非常特判ノ事件デアルカラナドト申サレマシテ、自己ノ政策ノ破綻マデ敢テンテ居ラレマスガ、他方ニ於キマシテハ緊縮政策ノ爲ニ必要デアル所ノ繼續事業ノ中止、繰延ベナドニ依ラテ、多數ノ失業者ヲ社會ニドンヽ放出生シテ御出ニナル、斯ノ如キコトハ政府ノ意圖ガ何處ニ在ルカ、奈邊ニ存スルカト云デアリマス、今後ハ永久ニ存續シマシテ、フコトヲ、私ハ實ニ知ルニ苦シムノデアリマス、更ニ進ンデ此失業ト申スクトハ、決シテ今日ノ不景氣ノ一時的現象デハナイノ意圖ガ何處ニ在ルカ、奈邊ニ存スルカト云且ツ少タトモ、近キ将来ニ於キマシテハ、失業者ノ數ハ増ストモ減ラナイト考ヘテ居ルコトガ至當デハナイカト思フノデアリマス、サスレバ、茲ニ出来ル限り之ヲ防止スルノ根本對策ト云フモノガ考ヘラネバナル又、之ニ關スル政府ノ態度ハ全ク無關心、無頓著ナ有様デ、具體的實行案ニ至ラテハ何等承ル所ガナイノハ、實ニ今日ノ場合困クコトト、私ハ思テ居ルノデアリマス、要スルニ本決議案ノ問題ハ、多クノ經濟案件ノ中デモ、最モ重要デ、且ツ既ニ經濟ノ範囲ヲ越エテ重大ナル……先程モ小久保君ノ仰セラレマシタ人道問題ト申シマスカ、或ヘ社會問題ト云フカ、サウ云フコトニ既ニナフテ居ルノデアリマス、而カモ中大小産業者及ビ失業者共ニ、直チニ今日デヘ死活問題ニ觸レテ居ル、極ク現代の言葉ヲ藉リテ申セバ、彼等ハ死線ノ内外ニ出入シ

テ居ルノデアリマス、故ニ此解決ノ一步ヲ
誤リマスル時ニハ、甚ダ不祥ノ言デヘアリ
マスルガ、或ハ社會的危機ヲ發生スルト云
フヤウテ虞方無イテモナインデアリマス、
貴族院ガ昨年モ、亦今年モ、之ニ關シテ意
思表示ヲスル所以ハ、實ニ此處ニ在ルノデ
ハナイカト私ハ存ジテ居ルノデアリマス、
私ハ政府ガ此貴族院ノ深憂ニ向フテ、ヨク恩
ヒヲ致サレマシテ、應急、恆久共ニ有效適
切ナル匡救ノ方法ヲ熱心ニ、誠意ヲ以テ考
慮セラレテ、サウシテ速力ニ之ヲ實行セラ
レマシテ、國家國民ノ要望ニ添ハレムコト
ヲ切ニ希望イタシマシテ、本案ヲ贊成スル
次第デアリマス

ニ立^タテ居ルカラデアリマス、臨時總理大臣ノ幣原君ハ衆議院ニ於テ失言問題ヲ惹キ起シテ、而シテ之ヲ取消シテ居ル、失言問題ハナシアルカト云フト、政府ノ政策ノ辯護ニ當^タテ至尊ノ名ヲ用キタト云フコトデアリマシテ、是ハ失言デハナイ、思フトヨロヲ言^テ其言葉が惡イト云フコトデアルカラ決シテ失言デハナイ、斯ノ如キ事例ハ英吉利ノ議會ニ於テハ二百年前ニアッテ、屢々問題トナ^ツテ、不敬罪トナ^ツテ其職ヲ失シタ大臣ガ屢々アル、幣原君ノ如キハ英語ノ堪能ナ人デアル、「カントンベリー」ノ「ロードバッキンガム」大公爵ノ傳ナドハ讀ンデ居ラレルデアラウガ、斯ノ如キコトハ失言デハナ^イ、間違^タコトデハナイ、政治上ノ罪惡トシテ居ラレヌノデアル、其君ニ仕フルコトハ、東洋流カラ言ハバ、善ハ之ヲ君ニ歸シ過チハ之ヲ已レニ歸スト云フノハ、之ハ大臣ガ君ニ仕フル途デアル、西洋流カラ言ヘバ、一切ノ政策ノ責任ハ大臣ニアッテ議員生活デ屢々經驗シテ確立シタ原則デアル、然ニ幣原君ハ君主ノ名ヲ用キテ其政策ヲ辯護セムトシテ議會ノ一撃ニ會ウテ其失言ヲ取消シタ、失言ト云フコトハ思ハヌコトヲ言^タト云フコトデ、思フコトヲ言^タク東西兩洋、臣ガ君ニ仕ヘルコトハ決マッテ居ル、斯ノ如キコトハ英國ナドハ數百年ノ議員生活デ屢々經驗シテ確立シタ原則デアル、然ニ幣原君ハ君主ノ名ヲ用キテ其政策ヲ辯護セムトシテ議會ノ一撃ニ會ウテ其失言ヲ取消シタ、失言ト云フコトハ思ハヌコトヲ言^タト云フコトデ、思フコトヲ言^タク

集^タダケデア^ツテ、内閣ノ最モ大切ナル所^ニ一個ノ結合アル有機體デアルト云フ生命ヲ失^タテ居ルノデアル、而シテ演口君ガ病ノ幣原君ハ衆議院ニ於テ失言問題ヲ惹キ起シテ、而シテ之ヲ取消シテ居ル、失言問題ハナシアルカト云フト、政府ノ政策ノ辯護ニ當^タテ至尊ノ名ヲ用キタト云フコトデアリマシテ、是ハ失言デハナイ、思フトヨロヲ言^テ其言葉が惡イト云フコトデアルカラ決シテ失言デハナイ、斯ノ如キ事例ハ英吉利ノ議會ニ於テハ二百年前ニアッテ、屢々問題トナ^ツテ、不敬罪トナ^ツテ其職ヲ失シタ大臣ガ屢々アル、幣原君ノ如キハ英語ノ堪能ナ人デアル、「カントンベリー」ノ「ロードバッキンガム」大公爵ノ傳ナドハ讀ンデ居ラレルデアラウガ、斯ノ如キコトハ失言デハナ^イ、間違^タコトデハナイ、政治上ノ罪惡トシテ居ラレヌノデアル、其君ニ仕フルコトハ、東洋流カラ言ハバ、善ハ之ヲ君ニ歸シ過チハ之ヲ已レニ歸スト云フノハ、之ハ大臣ガ君ニ仕フル途デアル、西洋流カラ言ヘバ、一切ノ政策ノ責任ハ大臣ニアッテ議員生活デ屢々經驗シテ確立シタ原則デアル、然ニ幣原君ハ君主ノ名ヲ用キテ其政策ヲ辯護セムトシテ議會ノ一撃ニ會ウテ其失言ヲ取消シタ、失言ト云フコトハ思ハヌコトヲ言^タト云フコトデ、思フコトヲ言^タク東西兩洋、臣ガ君ニ仕ヘルコトハ決マッテ居ル、斯ノ如キコトハ英國ナドハ數百年ノ議員生活デ屢々經驗シテ確立シタ原則デアル、然ニ幣原君ハ君主ノ名ヲ用キテ其政策ヲ辯護セムトシテ議會ノ一撃ニ會ウテ其失言ヲ取消シタ、失言ト云フコトハ思ハヌコトヲ言^タト云フコトデ、思フコトヲ言^タク

集^タダケデア^ツテ、内閣ノ最モ大切ナル所^ニ一個ノ結合アル有機體デアルト云フ生命ヲ失^タテ居ルノデアル、而シテ演口君ガ病ノ幣原君ハ衆議院ニ於テ失言問題ヲ惹キ起シテ、而シテ之ヲ取消シテ居ル、失言問題ハナシアルカト云フト、政府ノ政策ノ辯護ニ當^タテ至尊ノ名ヲ用キタト云フコトデアリマシテ、是ハ失言デハナイ、思フトヨロヲ言^テ其言葉が惡イト云フコトデアルカラ決シテ失言デハナイ、斯ノ如キ事例ハ英吉利ノ議會ニ於テハ二百年前ニアッテ、屢々問題トナ^ツテ、不敬罪トナ^ツテ其職ヲ失シタ大臣ガ屢々アル、幣原君ノ如キハ英語ノ堪能ナ人デアル、「カントンベリー」ノ「ロードバッキンガム」大公爵ノ傳ナドハ讀ンデ居ラレルデアラウガ、斯ノ如キコトハ失言デハナ^イ、間違^タコトデハナイ、政治上ノ罪惡トシテ居ラレヌノデアル、其君ニ仕フルコトハ、東洋流カラ言ハバ、善ハ之ヲ君ニ歸シ過チハ之ヲ已レニ歸スト云フノハ、之ハ大臣ガ君ニ仕フル途デアル、西洋流カラ言ヘバ、一切ノ政策ノ責任ハ大臣ニアッテ議員生活デ屢々經驗シテ確立シタ原則デアル、然ニ幣原君ハ君主ノ名ヲ用キテ其政策ヲ辯護セムトシテ議會ノ一撃ニ會ウテ其失言ヲ取消シタ、失言ト云フコトハ思ハヌコトヲ言^タト云フコトデ、思フコトヲ言^タク東西兩洋、臣ガ君ニ仕ヘルコトハ決マッテ居ル、斯ノ如キコトハ英國ナドハ數百年ノ議員生活デ屢々經驗シテ確立シタ原則デアル、然ニ幣原君ハ君主ノ名ヲ用キテ其政策ヲ辯護セムトシテ議會ノ一撃ニ會ウテ其失言ヲ取消シタ、失言ト云フコトハ思ハヌコトヲ言^タト云フコトデ、思フコトヲ言^タク

集^タダケデア^ツテ、内閣ノ最モ大切ナル所^ニ一個ノ結合アル有機體デアルト云フ生命ヲ失^タテ居ルノデアル、而シテ演口君ガ病ノ幣原君ハ衆議院ニ於テ失言問題ヲ惹キ起シテ、而シテ之ヲ取消シテ居ル、失言問題ハナシアルカト云フト、政府ノ政策ノ辯護ニ當^タテ至尊ノ名ヲ用キタト云フコトデアリマシテ、是ハ失言デハナイ、思フトヨロヲ言^テ其言葉が惡イト云フコトデアルカラ決シテ失言デハナイ、斯ノ如キ事例ハ英吉利ノ議會ニ於テハ二百年前ニアッテ、屢々問題トナ^ツテ、不敬罪トナ^ツテ其職ヲ失シタ大臣ガ屢々アル、幣原君ノ如キハ英語ノ堪能ナ人デアル、「カントンベリー」ノ「ロードバッキンガム」大公爵ノ傳ナドハ讀ンデ居ラレルデアラウガ、斯ノ如キコトハ失言デハナ^イ、間違^タコトデハナイ、政治上ノ罪惡トシテ居ラレヌノデアル、其君ニ仕フルコトハ、東洋流カラ言ハバ、善ハ之ヲ君ニ歸シ過チハ之ヲ已レニ歸スト云フノハ、之ハ大臣ガ君ニ仕フル途デアル、西洋流カラ言ヘバ、一切ノ政策ノ責任ハ大臣ニアッテ議員生活デ屢々經驗シテ確立シタ原則デアル、然ニ幣原君ハ君主ノ名ヲ用キテ其政策ヲ辯護セムトシテ議會ノ一撃ニ會ウテ其失言ヲ取消シタ、失言ト云フコトハ思ハヌコトヲ言^タト云フコトデ、思フコトヲ言^タク東西兩洋、臣ガ君ニ仕ヘルコトハ決マッテ居ル、斯ノ如キコトハ英國ナドハ數百年ノ議員生活デ屢々經驗シテ確立シタ原則デアル、然ニ幣原君ハ君主ノ名ヲ用キテ其政策ヲ辯護セムトシテ議會ノ一撃ニ會ウテ其失言ヲ取消シタ、失言ト云フコトハ思ハヌコトヲ言^タト云フコトデ、思フコトヲ言^タク

デアルナラバ、今マデノ一切ノ非募債主義ヲ棄テ、積極的ニ仕事ヲヤッテ行キサヘスレバ、斯ノ如キ無理ナコトヲセズトモ済ムノデアリマス、斯ノ如キコトハ最モ劣悪ナル形ニ於テ積極主義ニ降伏シタモノデアル、而シテ是等ノコトヲ合セテ政府ハ何百万人ノ今救濟セラレルト云フコトヲ頻ニ宣傳セラレルガ、ソレハ一箇年ヲ通ジタ延人數デアッテ、此金ニ依テ、一日使用セラレル失業者ハ僅カ數万人デアル、只今モ失業者ガ幾何アルト云フコトガ前議員ノ口頭ニ上ボリマシタ、我國デハ失業者ト云フト、既ニ有ツ業務カラ失タ者ヲ失業者ト云フコトニ拘泥シテ居ラレルガ、是ハ「アンエンプロイメント」云フ言葉デ、仕事ノ無イト云フ言葉デアル、仕事ノ無イ中ニハ學校ヲ出ル失業者モアレバ、政府ニ届出テ職業ヲ求メラレザル中ニ於テ職業ノ無イ者、皆「アンエンプロイメント」デアル、是等ヲ勘定スレバ、社會局ノ計算猶ホ足レリトセズ、ソレゾレ其専門ノ人ニ依テ略ボ百万人ノ失業者ガアルト云フコトハ推定セラレテ居リマス、我國ハ家ニ子供アリ、妻モ亦夫ニ依テ養ハレルト云フ習慣デアルカラ、百万人ノ失業者ハ即チ四百万人ノ衣食ノ缺乏ヲ來シテ居ルノデアリマス、然ルニ政府ハ僅ニ今掲ゲタ所ノ一、二、三、四ノ仕事ヲ以テ之ヲ救ヒ得ルト云フニ至ラテハ、太平洋ノ水ヲ柄杓ヲ以テ汲ミ干サントスルガ如キモノデアル、私ハ議會ノ開會セラレク時、幣原臨時總理ノ演説ヲ拜聴イタシマシタガ、其中ニ農村ノ窮乏ニ付テハ「一言モ論ジ及バレザルヲ怪ンデ居タ、併ナガラ或ハ本員ノ體ラヌノヲ發見シテ驚イタノデアル、今日農村ノ窮乏ハ天下公知ノ事實デアルガ、之ニ對シテ一言モ施政ノ方針ガ及バズト云フニ至ラテハ、其政策モ亦ココニ及バザルコトハ

當然デアル、要スルニ政府はマデノヤリ方ハ、政府ノ政策ニ由フテ來タ所ノ農村ノ缺乏、失業者ヲ救フニ、總テ其負擔ヲ農民ニ轉嫁スルト云フノガ政府ノ方針デアルヤウニ思フ、農林大臣デアタカ、斯ウ云フコトヲ地方ノ農會ノ代表者ニ向テ言ハレテ居ル、此事ガ有效デアルヤ否ヤト云フコトハ別ナ議論デアルガ、是ハ治安維持ノ爲メダト言ハレタサウデアル、治安維持ト云フコトハ何デアルカ、農民ガ中央ノ都會へ來テ、騒イデハ困ルカラ、此金ヲヤフテ騒ガゼナイ、治安維持ガ目的ダト云フニ至テハ驚力ザルヲ得ナイ、政府ハ輦轂其他ノ大都會ニ於テハ、此失業及び不景氣ノ洪水ヲ防グ爲ニ、堤防ヲ築イテ、都會ノ周圍ニハ堤防ヲ築イテ、サウシテ都會ニハ洪水ヲ寄セナイ、其洪水ハ自カラ農村ヘ流レテ行クヤウニト云フノガ、政府ノ失業對策デアル、是ハ甚ダ殘酷ナ策ト言ハネバナラヌノデアル、今年ノ地方財政ハ四億千六百八十一萬圓デアッテ、支出ハ昨年ニ比シテ一千四百万圓ヲ増シテ、收入ハ九百三十五万圓減ジテ居ル、此減額ハ何カラ來タカト云ヘバ、地方ノ自治體ガ貧民及ビ細民救助ノ爲ニ救濟ヲシナケレバナラヌト云フコトデ、支出ガ積エテ居ルノデアル、此上ニ大都市道路ノ負擔ヲゼンメ、效能ノ無イコトニ總テ農村ガ負擔ヲ課言ハネバナラヌ、其結果、各地ニハ暴動性ヲ帶ビタ所ノ騷動ガ多イ、此事ハ新聞ノ自制心ト政府ノ干渉ニ依フテ新聞ニハ載ラヌコトガ多イデスガ、頗ル數ガ多イ、ソレカラ町村ノ「モラトリアム」トナフテ、町村ガ最早支拂フシナイト云フコトニナッテ居ル、其次ニハ屢々コ、テ論ゼラレタ如ク、村ヲ廢スヤウナコトニモナッテ居ル、銀行ノ破綻トナフテ居ル、ソレカラ物々交換トナフテ居ル、租稅ノ滞納トナッテ居ル、是ハ屢々閭僚ガ上兩院ニ於テ耳ニシテ、モウ聽クコトヲ厭ハレルコトデアルガ、本員ハ更ニ之ヲ高調

セザルヲ得ナイノデアリマス、東京府下ノ空家ハ既ニ二万二千軒ニ達シテ居ル……、空間ハ既ニ一万二千ニ達シテ居ル、是等ハ皆何處へ行タカト云フト、東海東山ノ兩道へ向テ日夜、水ノ流レルガ如ク農村ヘ這入ブテ居ル、農村ハサナキダニ缺乏シテ居ル所ニ向テ更ニ大都會カラノ逃亡者ヲ受容レネバナラヌト云フコトニナシテ、此上ニ政府方政策ニ依テ農民ノ負擔ヲ増スト云フコトハ慘酷ヲ極メテ、是ハ罪惡ト言ハネバナラヌト思フノデアル、是等ノ政策ニ付テ議論ヲスルト自然金解禁ノ時機シキヲ得ナカタコト、及ビ其準備方法ニ付テ當ヲ得ナカタト云フコトニ論及フセネバナラヌノデアリヤスガ、是ハ昨年以來ノ宿題デアルカラ本員之ヲ蒸シ返サウトハ思ハナイ、併ナガラ動トモスレバ政府ハ、不景氣ハ世界ノ不景氣ノ影響デアルカラ政府ハ如何トモスペカラズト言フノデアリマスガ、今ヲ去ルコト二十四年前、千九百七年ニ紐育ノ「ウエスチング・ハウス」ノ仲間ノハイランヅ「方破産ヲシタ時ニ僅カ一日ノ間に此破産ハ全歐ヘ響イテ倫敦、巴里、伯林邊リデ何十万人ト云フ失業者ヲ出シタト云フコトハマダ世界ノ財界ノ中心ト言ハレナイ、倫敦ガ中心デアッタノデアル、ソレデスラモ紐育ノ一つノ店ノ破綻ハ直チニ全歐ニ響イタ倫敦ニ居タト思フノデアル、其時ハ、紐育ノ中心ハ紐育ニ移シテ、此世界ノ金融ノ中心タル紐育ノ破綻ハ、全世界ニ更ニ傳播スベキコトハ、財政ニ於テ常識アル者ノ豫ヌ知リ得ベキ所デアル、我ガ井上君ハ世界ノ金融ニ付テハ十分精通セラレテ居ルノデアルカラ、紐育ノ不景氣ガ日本ニ襲來スルト云フコトハ、非常ナル力ヲ持テ來ルト云フコトハ豫測セラレテ居タコトデアラウト思フ、然ルニ此不景氣ガ來ル直グ直前ニ於テ、

金解禁ヲセラレタト云フコトハ、誰モ是ハ時機、當ヲ得タト言フコトハ出來マトイタ思フ。ノデアリマス、私ハ此時機當ヲ得ナカッタコトニ付テ今政府ヲ責メルノデハナイ、甚ダ遺憾ダト思フノデアル、唯之ニ言葉ヲ藉リテ已レノ政策ノ當ヲ得ナカッタコトヲ辯護セラレルノヲ、聊カ笑フベキコトスルノデアル、一人ノ愚人ハ水門ヲ開クコトガ出来ルノデアル、既ニ水門ヲ開イタ後ハ百人ノ智者アリト雖モ防グコトハ出來ナイノデアル、井上君ハ此財界ヲ樂觀シテ、景氣ハ恢復スルト言^フテ居ラレルノデアル、他ノ閣僚モ之ヲ樂觀シテ居ルノデアル、何ニ依ラ樂觀セラレルカト云ヘバ、株式取引所ニ於テ株ノ値段ガ聊カ恢復シクト云フコトヲ言ハレルノデアラウト思フガ、是ハ真正ノ景氣恢復デハナイ、井上君ノ如キハ昨年ノ春以來、銀行事業會社ニ於テ單名手形ヲ發行スルコトハ宜シクナイカラ、之ヲ取締ラネバナラヌト云フコトヲ言ハレタノデアルガ、暫ク經^テ此單名手形ノ取扱ハ極メテ寛大ニシナケレバナラヌト云フコトニナックタ、而シテ保險會社ヲ集メテ株ヲ賣ラヌデガト云フコトヲ勸告セラレタサウデアルガ、其時ノ興業銀行ノ頭取ハ、自分ハ銀行ノ利害ニ於テ之ヲ買フ場合ニハ買フカモ知レヌガ、左様ナル目的ヲ持^テタ買ヒ方ハ出來ナイト云フノデ辭職シタノデアル、世間デハ之ヲ他ノ原因ニ歸著シテ居ルガ、興業銀行ノ頭取ハ、即チ政治的ニ金ヲ運轉スルコトハ出來ナイト言^フテ斷^ハッタ、近頃、株ガ少シク景氣ガ好イト云フコトハ、井上君ナドガスノ如ク熱心ニ株式市場ヲ賑ハスコトニ努力セラレルカラデアリマス、其事ノ當否ヲ私ハ言フノデハナイ、井上君ガ斯ノ如ク株式ニ熱心デアルガ如ク、中小産業者ヲ救ヒ、農民ヲ救フト云フ心ガ此十分モ一モ

アタナテベ、失業者救フヘン、農民救フヘシ、小中工業者救フヘン、小中工産業者ト云フモノヘ、財産ニ於テハ大實業家ニ比シテ極メテ微々タルモノデアル、併ナガラ其位置ト心持ハ雖テ中產階級デアル、中產階級ハ、一國ノ最モ健全ナル階級トシテ保護セズネバナラニ階級デアル、中產階級ハ努力シ能タ己レヲ制シ、精神的ニモ肉體的ニモ道徳的ニモ努メレバ以テ上流ニ上ガルコトガ出来ル、過テバ下流ニ陥ルト云フ階級デアルカラ、十九世紀以來、多數ノ最モ健全ナル國家ハ、中產階級ノ最モ健全ナル國家デアル、然ルニ今日ノ財界ノ狀態ハ此中產階級ヲ皆歸セ落シテ下層階級ニ落サウトスルノガ其傾向デアル、政府ハ出來ルダケニコトヲシテ之ヲ努力セズベナラヌト思フ考、政府ノ明ソニ及バズ、唯徒ラニ金融太實業者ノ一角ヲミヲ見ルト云フコトハ、本員ノ甚ダ遺憾トスル所デアル、又農民ハ國家ノ基テアルト云フコトハ、是ハ何人モ異論ノ無イ所デアッテ、最モ清新ナル肉體、最モ健全ナル精神、事アル時ハ最モ有力ナル男子ヲ戰場ニ送り得ル此農村ハ、總テムモノノ基機デアルカラ、之ヲ保護シテ助長シ其利益ヲ増進シテヤラネバナラヌ、然ルニ井上君ハ農村ニ對シテ何ト言フカト云ヘバ、農村ハ自覺シテ冀ハネバ困ル、景氣ノ好イ時ノコトダケ考ヘテ今日ヲ致シタノデアルト非難キテ据デレル、農村ガ何ヲシテ斯ノ如キ非難ヲ受ケル、農村ガ今日幕府時代ト異ルコトハ、農村ハ何デアルカラト云ヘバ、鍛金ノ指環ヲ嵌メルコトガ自覺ヲ要ルト云フニ至リハ、マダ井上君ハ、徳川家康時代ノ農民スノ腰巻ヲ巻クコトダケガ幕府時代ト違テ居ル、「メリインス」ノ著物ヲ著、鍛金ノ指環ヲ嵌メルコトガ自覺ヲ要ルト云フニ至リハ、マダ井上君ハ、徳川家康時代ノ農民ヲ見テ居フレルノテハナイカ、又徳川家康納入機關トシテ勵カセルダケデアル、其生

頃政府ノ議會ニ於テノ辯論ヲ見ルニ誠ニ妙論ニ巧妙ナアツテ、殊ニ井上君ノ如キハ辯へ以テ非ヲ飾ルニ足リ、御ハ以テ諫ヲ拒グニ足ルト云フ實ニ雄辯ナル、併ナガラ雄辯モ此緊縮、萎縮政策ノ維持スペカラザルコトヲ知テ居ル、又非暴債主義ノ維持スペカラザルコトヲ知テ居リ、而シテ唯内閣ヲ維持シテ九月ノ縣會議員ノ總選舉マデニ此内閣ヲ持テ行キタイト云フ一念デ唯其手ヲ握テ居ラレルノデアル、誠ニ悲シムベキヨトデアル、或爾識者ノ言葉ニ無責任ナル政黨内閣ハオーガナイズドヒボクリシイ即チ組織セラレタル虛偽デアルト云フコトヲ言ツテ居リマシタガ、誠ニ此内閣ハ此言葉ニ適當スルコトヲ本員ハ深ク悲シム者デアリマス、兎ニ角此内閣ハ失業救濟小中工業者ノ救濟ニ依ツテ其政策等ヲ過ツテ居リマス、昨年以來ノ成行ニ依ツテ本員ハ其成績ヲ非難スルノ決議ヲ此處ニ留メタイト思フノデアリマス(拍手起立)○阪本彰之助君 御採決前ニ緊急ニチヨント議長ヘ申上ダタイコトアリマス、御許シニナリマスカ、議事進行上……○副議長(公爵近衛文麿君) 宜シウゴザイスル御發言アリマスカ○阪本彰之助君 ヘイ○阪本彰之助君 先刻來此邊ニ於キマシテ喊聲ヲ擧ゲル聲ガ聞エマスノデ聽キマスル

ト、多數ノ人々ガ中小産業救濟請願團ト云
フ禦ヲ掛ケマシテ數十人ト申シマスカ、數
百名ト申シマスカ、御聞キノ通り頻ニ喊聲
ヲ擧ゲテ居ル、ドウ云フコトヲシテ居ルカ
ト云フコトハ私モ調べル必要ハアリマセヌ
ガ、此神聖ナル貴族院ガ、丁度此中小産業
救濟ノコトノ決議案ノ上程ニナッテ居ル際
ニ他ノ方面カラ如何ニモ貴族院ヲ脅威スル
ガ如キ行動ヲ見マスルト云フコトハ甚大遺
憾ニ存ジマスルノデ、而モ其請願團ナル人
ノ様子ヲ見マスルト、地方ニ於テ……中ニ
ハ群馬縣ナドト云フコトノ書イテアルノモ
アリマス、地方ニ於テ如何ニモ業ヲ失ツテ、
誠ニ困憊ニ陥テ居ルトハ見ラレナイ、多クタ
ハ矢張リ此院外圍トモ稱シマスルカ、其方
面ノ人デハナイカト疑ハルルヤウナ人が多
イヤウデアリマスガ、ソンナコトハ彼はレ
申ス譯デアリマセヌガ、兎ニ角外部ノ人ガ多
致スコトハ我ミノ與リ知ル所デハアリマセ
ヌ、兎ニ角此問題が丁度此處ヘ上程セラレ
テ居ル際ニ、斯ノ如キ脅威ヲ受ケルガ如キ
形ヲ以テ此決議案ヲ議スルト云フコトハ、
甚ダ遺憾ニ存ジマスルガ故ニ、議長ハ宜シ
ク書記官長ニ御命ジニナリマシテ、ドウ云
フモノガドウ云フコトヲシテ居ルノデアリマ
カト云フコトヲ、其成行ヲ御確メニナリマ
シテ、議場ヘ御報告アランコトヲ求メマス
シテ、「必要ナシ」又ハ「必要アリ」ト呼フ者
アリ

○子爵東園基光君 本員ハ貴族院規則第十五條ニ依リマシテ議事日程ノ追加ヲ要求イタシマス、即チ本日衆議院ヨリ送付セラレマシタ政府提出案、牧野法案、競馬法中改正法律案、關稅定率法中改正法律案、勞働者災害扶助法案、勞働者災害扶助責任保険特別會計案、以上ノ各法律ヲ直チニ第一讀會ニ付セラレマシテ、其審議ヲ進メラレムコトヲ希望イタシマス

○子爵池田政時君 贊成

○副議長(公爵近衛文麿君) 東園子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(公爵近衛文麿君) 牧野法案、政府提出衆議院送付、第一讀會、競馬法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、農林大臣

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和六年三月二十日

衆議院議長 藤澤幾之輔

貴族院議長公爵德川家達殿

牧野法案

第一條 本法ニ於テ牧野ト稱スルハ牛馬ノ生産飼育ノ爲放牧又ハ採草ヲ爲ヌヲ目的トスル土地ヲ謂フ

第二條 地方公共團體ハ其ノ所有スル牧野ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ管理方法ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ認可得ヲ受ケタル管理方法ヲ廢止又ハ變更セントスルトキ亦同ジ

行政官廳必要アリト認ムルトキハ前項ノ管理方法ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第三條 牧野ノ荒廢防止、害蟲ノ驅除豫防

防其ノ他牧野ノ保護ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第四條 命令ヲ以テ規定シタル者ヲ除クノ外牧野ニ於テ放牧又ハ採草ヲ爲ス者ハ協同シテ牧野ノ維持又ハ改良ヲ圖ル目的ヲ以テ牧野組合ヲ設立スルコトヲ得

第五條 牧野組合ハ法人トス

第六條 牧野組合ハ其ノ名稱中ニ牧野組合ナル文字ヲ用フベシ

第七條 牧野組合ハ一定ノ牧野ヲ以テ其ノ地區トス

第八條 牧野組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フコトヲ得

一 牧野ノ維持又ハ改良ニ必要ナル共同設備ノ設置

二 草生ノ改良

三 蒺藜、土石其ノ他障害物ノ除去

四 害蟲ノ駆除豫防

五 牧野ニ關スル利用統制

六 前各號ニ掲タルモノノ外牧野ノ維持又ハ改良ヲ圖ルニ必要ナル施設

第九條 政府ハ牧野組合ニ對シ豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付スルコトヲ得

第十條 牧野組合ヲ設立セントスルトキハ共團體、畜產組合、畜產組合聯合會又ハ主務大臣ノ指定スル團體ニ付亦同ジ

第十一條 牧野組合成立シタルトキハ組合ノ地區タルベキ牧野ニ付組合員タル資格ヲ有スル者三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ定款ヲ作成シ行政官廳ノ認可ヲ受ケシ

第十二條 牧野組合成立シタルトキハ其ノ地區タル牧野ニ付組合員タル資格ヲ有スル者ハ總テ之ヲ組合員トス但シ特

別ノ事由ニ依リ行政官廳ノ認可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラズ
第十二條 牧野組合ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 目的

二 名稱

三 地區

四 事務所ノ所在地

五 組合員タル資格ニ關スル規定

六 事業及其ノ執行ニ關スル規定

七 牧野ノ利用統制ノ定ヲ爲ス組合ニ在リテハ之ニ關スル規定

八 役員ニ關スル規定

九 經費ノ分擔方法

十 組合ガ公告ヲ爲ス方法

十一 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

前項ニ規定スルモノノ外定款ニ定ムルコトヲ要スベキ事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條 牧野組合ハ第十條ノ認可ヲ受ケタルトキハ設立ノ登記ヲ爲スベシ

第十四條 牧野組合第一項第一號乃至第三號、第十號及第十一號ニ掲グル事項

三 設立認可ノ年月日

四 理事ノ氏名、住所

第十五條 牧野組合ノ理事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ特別ノ事由アルトキハ組合員ニ非ザル者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

組合設立當時ノ理事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第十六條 第一項及第二項ノ規定ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

ノ選任又ハ解任ニ之ヲ準用ス

第十五條 牧野組合ハ牧野ノ改良事業ヲ

第十六條 牧野組合ノ定款ノ變更ハ總會ニ於テ組合員半數以上出席シ出席者ノ議決權三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ決スルトキ亦同ジ

第十七條 牧野組合ノ定款ノ變更ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十八條 牧野組合ノ總會ノ決議ニ依ル解散ハ行政官廳ノ認可ヲ受タルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十九條 行政官廳ハ牧野組合ニ對シ業務ニ關スル報告ヲ爲サシメ、書類帳簿、業務ノ執行又ハ財產ノ狀況ヲ検査シ、定款又ハ經費ノ分擔方法ノ變更ヲ命ジ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十條 牧野組合ノ總會ノ招集ノ手續又ハ決議ノ方法が法令又ハ定款ノ規定ニ違反スルトキハ組合員ハ決議ノ日ヨリ一月以内ニ其ノ決議ノ無効ノ宣告ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニハ商法第百六十三條第一項第三項及第百六十三條ノ四ノ規定ヲ準用ス

第二十一條 牧野組合ノ行爲又ハ總會ノ

行ハントスルトキハ其ノ改良計畫ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ認可ヲ受ケタル改良計畫ヲ廢止又ハ變更セントスルトキ亦同ジ

第十六條 牧野組合ノ定款ノ變更ハ總會ニ於テ總組合員半數以上出席シ出席者ノ議決權三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ決スルトキ亦同ジ

第十七條 牧野組合ノ定款ノ變更ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十八條 牧野組合ノ總會ニ於テ書面又ハ代理ムル所ニ依リ總會ニ於テ書面又ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席者ト看做ス但シ組合員ニ非ザレバ代理人タルコトヲ得

第十九條 牧野組合ノ組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ總會ニ於テ書面又ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席者ト看做ス但シ組合員ニ非ザレバ代理人タルコトヲ得

第二十條 牧野組合ノ總會ニ於テ書面又ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席者ト看做ス但シ組合員ニ非ザレバ代理人タルコトヲ得

第二十一條 牧野組合ガ本法ニ基キテ爲ス登記ニ付テハ登録稅ヲ課セズ

第二十二條 牧野組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款違反者ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第二十三條 牧野組合ガ本法ニ基キテ爲ス登記ニ付テハ登録稅ヲ課セズ

第二十四條 牧野組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款違反者ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第二十五條 第十五條ノ規定ハ牧野ヲ設置スル畜產組合、畜產組合聯合會及主務大臣ノ指定スル團體ニ之ヲ準用スルコトヲ得

第二十六條 左ノ場合ニ於テハ牧野組合ノ理事、監事又ハ清算人ヲ五圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス

一 本法ニ依リ行政官廳ノ認可ヲ受ケテ爲スベキ事項ヲ之ヲ受ケズシテ爲シタルトキ

二 本法ニ依ル登記ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

三 行政官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

四 本法ニ依リ行政官廳ノ徵スル報告ヲ差出サズ又ハ其ノ検査ヲ拒ミ其ノ

競馬法中改正法律案

ニ左ノ一號ヲ加フ
第三條第一項ノ法人ノ開催スル競馬ノ競

第二條第二項中「六日內」ヲ「八日內」ニ改ム
勝馬投票券ノ發賣ハ競馬一競走ニ付一式勝馬投票券及複勝

人一枚ヲ限り單勝式勝馬投票券ニ於テハ競馬一競走ニ付一人各一枚ヲ限ル

第六條ニ左ノ二項ヲ加フ
勝馬投票的中者無キ場合ニ於ケル賣得

金又ハ前項但書ノ規定ニ依リ生ジタル超過金ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ勝

馬投票券ヲ購買シタル者ニ拂戻スベシ

前二項ノ拂戻金ノ債權ハ一年間之ヲ行ハザルトキハ時效ニ依リテ消滅ス

第八條第一項中「百分ノ四以内」ヲ「百分ノ六以内」ニ改メ同條ニ左ノ三項ヲ加

ハザルトキハ時效ニ依リテ消滅ス

實施セラレマシテ茲ニ八年ノ星霜ヲ經マシテ、昭和四年ニ於キマシテハ、其改正ヲ見マシタガ、競馬ノ實況ニ鑑ミマスルニ、法律制定ノ精神ヲ達スル爲ニハ更ニ改正ヲ要ス

ル點ガ少クナインミナラズ、目下產馬界ノ

狀況ヲ見マスルニ、馬ノ改善繁殖ヲ圖ル

ニハ牧野法ヲ制定シテ種牡馬ノ充實ヲ圖ル等、急施ヲ要スル施設ガ頗ル多イノアリ

マス、又一面ニ於キマシテハ、救護法實施ノ必要ガ茲ニ生ジタノアリマス、仍テ政

府ニ於テハ種々考究ニ基キ、大體次ノヤウナル要項ニ依テ競馬法ヲ改正イタ

スコトヲ企テタノアリマス、即チ第一

マシタ牧野法案提出ノ理由ヲ簡單ニ申述ベシ

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣町田忠治君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(町田忠治君)只今上程セラレ

マシタ牧野法案提出ノ理由ヲ簡單ニ申述ベシ

ハザルトキハ時效ニ依リテ消滅ス

シ以下順次繰上グ

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
〔國務大臣町田忠治君演壇ニ登ル〕
第六條第一號ヲ削リ第二號ヲ第一號ト

手方ト爲リタル者

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣町田忠治君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(町田忠治君)只今上程セラレ

マシタ牧野法案提出ノ理由ヲ簡單ニ申述ベシ

ハザルトキハ時效ニ依リテ消滅ス

シ以下順次繰上グ

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
〔國務大臣町田忠治君演壇ニ登ル〕
第六條第一號ヲ削リ第二號ヲ第一號ト

手方ト爲リタル者

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣町田忠治君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(町田忠治君)只今上程セラレ

マシタ牧野法案提出ノ理由ヲ簡單ニ申述ベシ

ハザルトキハ時效ニ依リテ消滅ス

シ以下順次繰上グ

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
〔國務大臣町田忠治君演壇ニ登ル〕
第六條第一號ヲ削リ第二號ヲ第一號ト

手方ト爲リタル者

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣町田忠治君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(町田忠治君)只今上程セラレ

マシタ牧野法案提出ノ理由ヲ簡單ニ申述ベシ

ハザルトキハ時效ニ依リテ消滅ス

シ以下順次繰上グ

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
〔國務大臣町田忠治君演壇ニ登ル〕
第六條第一號ヲ削リ第二號ヲ第一號ト

手方ト爲リタル者

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣町田忠治君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(町田忠治君)只今上程セラレ

マシタ牧野法案提出ノ理由ヲ簡單ニ申述ベシ

ハザルトキハ時效ニ依リテ消滅ス

シ以下順次繰上グ

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
〔國務大臣町田忠治君演壇ニ登ル〕
第六條第一號ヲ削リ第二號ヲ第一號ト

手方ト爲リタル者

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣町田忠治君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(町田忠治君)只今上程セラレ

マシタ牧野法案提出ノ理由ヲ簡單ニ申述ベシ

ハザルトキハ時效ニ依リテ消滅ス

シ以下順次繰上グ

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
〔國務大臣町田忠治君演壇ニ登ル〕
第六條第一號ヲ削リ第二號ヲ第一號ト

手方ト爲リタル者

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣町田忠治君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(町田忠治君)只今上程セラレ

マシタ牧野法案提出ノ理由ヲ簡單ニ申述ベシ

ハザルトキハ時效ニ依リテ消滅ス

シ以下順次繰上グ

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
〔國務大臣町田忠治君演壇ニ登ル〕
第六條第一號ヲ削リ第二號ヲ第一號ト

手方ト爲リタル者

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣町田忠治君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(町田忠治君)只今上程セラレ

マシタ牧野法案提出ノ理由ヲ簡單ニ申述ベシ

ハザルトキハ時效ニ依リテ消滅ス

シ以下順次繰上グ

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
〔國務大臣町田忠治君演壇ニ登ル〕
第六條第一號ヲ削リ第二號ヲ第一號ト

手方ト爲リタル者

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣町田忠治君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(町田忠治君)只今上程セラレ

マシタ牧野法案提出ノ理由ヲ簡單ニ申述ベシ

ハザルトキハ時效ニ依リテ消滅ス

シ以下順次繰上グ

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
〔國務大臣町田忠治君演壇ニ登ル〕
第六條第一號ヲ削リ第二號ヲ第一號ト

手方ト爲リタル者

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣町田忠治君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(町田忠治君)只今上程セラレ

マシタ牧野法案提出ノ理由ヲ簡單ニ申述ベシ

ハザルトキハ時效ニ依リテ消滅ス

シ以下順次繰上グ

質問ヲ致シタイト思ヒマス、此競馬法ニ改正法中改正法律案ニ對シマシテ、私ハ政府ニ改正ヲ爲スノ要アリト、只今農林大臣ノ御正ニ付キマシテハ改正ノ必要ガ述ベテゴザ説明ニナリマシタノモ此意味デゴザイマシタヤウデゴザイマス、施行ノ状況ニ徵シト云フコトハ餘り漠然トシテ居リマスガ、是ハドウ云フ意味デゴザイマスカ、之ヲ改正ナサラナケレバナラヌ程ノ事柄ガアルノカ既ニ只今御述ベニシテ競馬法ヲ是マデ施行シテ來タケレドモ、是デハ十分ノ效果ヲ收メラレヌヘ斯ウ仰シヤルヤウナ御説明デアッタ、今回ハ此改正ニ依テ馬匹ノ改良ガ出來、又一方ニハ馬事思想ノ普及ガ出來ルト、斯ウ仰シヤルヤウデアル、誠ニ結構ナニ承^シテ居リマスガ、私モ其中ノ一二ノ真相ニ實際ハドウゴザリマセウカ、今日マデ競馬ヲ施行サレタ結果ハ甚ダ芳シカラヌコトハ承知ヲ致シテ居リマスル、甚シキハ是ハ賭博ヲ獎勵スルモノデアル、斯ウ云フヤウヲ言フ、若シサウデゴザイマスナラバ、寧ロ今日ハ斯様ナモノハ廢シテ御仕舞ヒニナルベキモノノデハナイカト存ジマス、ソレヲ改正ナサル、改正ナサ^シタラバ果シテドウ云フ良イ效果ガ收メラレルノデアリマセウカ、其點ニ付テ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデゴザイマス、只今御説明ニナリマシタ此競馬法ノ收入ヲ割イテ救護法ノ實施ノ經費ニ充テル、斯ウ仰シヤルヤウデゴザイマスガ、救護法ヲ實施ナサルト云フコトベ誠ニ

早ク之ヲ實施セラレムコトヲ私ナドハ望ムノデアリマス、併シ其財源ヲ求メルニハ自ラ途ガアラウト思フ此様ニ弊害ノ多イ……
實際、是迄ノ競馬デゴザイマシタラバ、弊害ガ之ニ伴フノハ極メテ大キナコトデアルサウデゴザイマス、ソレヲ改良ナサルノデアルカ、果シテ其改良ガ出來ルト云フコトナラ、誠ニ結構デゴザイマスガ、其點ハ一ツ伺ヒタイモノデゴザイマス、若シ是迄ノヤウナ賭博類似ノヤウナ結果ヲ見ルト云フコトニナルト……是ハ既ニ天下周知ノコトデゴザイマス、今回收入ヲ殖ヤスト云フコトガ目的デアルトスレバ改良ドコロデハナイ、寧ロ一層改悪スルコトニナリバセヌカト存ジマス、誠ニサウ云フ結果ニナリマスルト歎ハシイ次第デアリマス、目的ガ既ニ金ヲ得ルニアル、救護法ヲ實施シナケレバ今日ノ場合如何トモ仕様ガナイ、既ニ餓死ゼントスル者ガ幾十万アルデヤナイカ、其幾万ノ餓死ニ瀕シテ居ル者ヲ救フ爲ニハ競馬法ヲ改正ヲシテ、收入ヲ殖ヤシテ、其收入カラ之ヲ取テヤルヨリ仕方ナナイ、今日ヘ財源ガ無イノデアル、斯ウ云フ意味デアラウト思ヒマス、サウスレバ事實ノ上デハ一層ノ無理ガ出來ハセヌカト思ヒマス、若シソレデ一層ノ無理ガ出來マスルトスレバ、之ガ爲ニ弊害ハ……一方ニ救濟ノ行ハレマスノハ結構デアリマスガ、一方ニエライ弊害ヲ残スコトニナル、サウスルト前門ニ虎ヲ追ウテ後門ニ狼ヲ迎ヘルヤウナコトニナリハ致シマセヌカ、此點甚ダ憂慮ニ堪ヘマセ

又、此競馬法ノ改正ニ依リマシテ國庫ニ收納スル所ノ收入……收益ト申シマスカ、收入ト申シマスカ、何レニ致シマシテモ、國庫ニ納マル所ノ金額ハドノ位ノ御見込デゴザイマスルカ、之ヲ伺ビタイ、ソレカラ之ニ對シテ救護法ヲ何時カラ是ハ實施ニナル御積リデゴザイマスカ、本法案ノ中ニハ見エマセヌ、何カ他ノ法案ノ中ニアルノデゴザイマセウカ、此コニハ見エマセヌカラ、何時カラ之ヲ御實施ニナル積リデゴザイマスカ、スカ、新聞紙ノ傳フル所ニ依ルト昭和七年一月カラ實施スルト云フコトノヤウデアリマス、果シテソレガ事實デゴザイマスカ、若シ七年一月カラト云フト、今日カラ十箇月程ゴザイマスガ、今既ニ餓死セントシテ居ル者ガ十箇月待タレマセウカ、是ハ餘り無理ト申シテ宜シイカ、無情ト云ウテ宜シイデゴザイマセウカ、常識ヲ以テ判断イタシマシテハ、十箇月食ハズニ辛抱ハ出來マセス、私ハ極ク壯健ナ身體デゴザイマスガ、二十歳ノ時、山ニ籠テ斷食ヲシマシタガ、一週間シカ出來マセナンド、迎モ十箇月食ハズニ人間ハ居ルト云フコトハ是ハ出來得マセヌ、申ス迄モアリマセヌ、サスレバ是ハ新聞紙ノ誤デゴザイマスカ存ジマセヌガ、之ヲ承ハリタイ、ソレ程ニ窮屈シテハ居ラヌト仰シヤルナラ、何故ニ……曩ニハ全國ノ方面委員ガ集テ上奏マデシヤウト云タコトガ新聞ニゴザイマスシ、政府モ之果シテサウデゴザイマスナラバ、是ハ來年、セラレタノデアルトスセウ聞イテ居リマス、

ノ一月ニ實施ナサルト云フコトハ事實デナ
カラウト思ヒマスガ、一ツノ新聞デヘナイ、
多數ノ新聞ガ申シテ居リマスカラ、ドチラ
ガ本當アルカ分リマセヌカラ、一ツ伺ヒ
タイノデアリマス、一體救護法ヲ實施ナサ
ル費用、是ハ救護法ニ今回流用ナサラウト
云フ費用ハドノ位ノ金高デゴザイマスル
カ、之ヲ一ツ伺ヒタイ、曩ニ救護法ガ
議會デ決セラレテ可決セラレマシタ場
合、當時ノ政府ガ之ヲ實行スルニハタシカ
八百万圓ヲ要スル、其内、折半シテ四百万
圓ハ國庫ヨリ、他ノ四百万圓ハ地方ノ公共
團體、斯ウ云ファヤウニ聞イテ居リマシタガ、
今日ハ其救護法ヲ待テ居ル瀕死ノ飢渴者
ガドノ位居リマスカ、當時ヨリ遙ニ増シテ
居ルト云フコトハ、今日ノ社會ノ狀態ヨリ
之ヲ見マシテモ推測ガ出來得ヤウト思ヒマ
ス、ソレ故ニ今回ハ或ハ一千方圓トカ、二
千方圓トカ之ニ御充テニナルコトガアラ
ウト存ジテ居リマスルガ、此金高ハドノ位
ニナリマスカ、ソレカラ只今御説明ニナリ
マシタ本法案ニモアルヤウニ、地方稅ハ是
カラ取ラナイ、サウスルト地方ハソレダケ
又負擔ガ重クナルト云フ結果ニナリマセ
ウ、一體競馬ナルモノハ土地ガ無クテハ出
來ナイノデ、土地ガ一番大事ナモノデアル
ト私ハ見テ居ル、其土地ヲ使用シテ而モ相
當ナ好イ場所デナケレバ客ガ集リマセヌ、
マス、丁度弊害モ各國ノモ同シヤウデアル
觀衆ガ集テ來ナイ、是ハ單リ日本ダケデハ
ナイ、各國モサウナツテ居ルヤウデゴザイ
ガ、各國ノ賭博類似ノ事ヲ弊害トシテ居ル

ノト我國トハ又事情ガ異ニ居リマス、然ルニ其地方ノ最モ適當ナ好イ土地ヲ使フニモ拘ラズ、是カラ舉ガタ金ハ地方ヘハ一切ヤラナイゾ、是ハ隨分殘酷ナ話ノヤウニ伺ハレルノデアリマス、是ハドウ云フ御趣意カラ來テ居ルノデゴザイマセウカ、伺ヒタバ、イノデアリマス、私ハ救護法ノ費用ガドウシテモ出テ來ナイカト云フニ、或ハ何處力ニ有リハセヌカト思フ、一例ヲ舉ゲテ言ヘバ、廣島ノ城址、御承知ノ如ク廣島市トシテハ非常ナ有望ナ位置デゴザイマシテ、此附近ト云フモノハ非常ナ高價ニ賣賣ラシテ居リマスガ、疾タヨリ廣島市デハ既ニ此場所ハ練兵場ガ他ニ出來テ廢止ニナッテアル、ソレ故ニ是ハ廣島市ニ拂下ゲテ貰ヒタイト云フコトハ是マデ度々出願ラシテ居ルヤウデゴザイマス、之ヲ拂下ゲマシタラバ二百万ヤ三百万ノ金ハ容易ク出來ルノデアラウト存ジマス、斯ウ云フモノハ丁度廢藩置縣ノ際各藩ノ城址ナドヲ皆政府ニ奉還シタノデスカラ澤山アラウト思フ、斯ウ云フモノヲ取ラテ、サウンデソレヲ賣却ラサツタラバ、ドウセヌデモ宜イ金ガ出ルノデハナイカト私ハ思フ、是ハ政府ノ御考ガ其處マデ及ンデ居ルカ及ンデ居ナカタノカソレハ存ジマセヌガ、私ラシテ言ハシムレバ獨リ是ダメデハゴザイマセヌ、軍用ノ地所ガ各地方相當ニ遊ンデ居ルヤウニ思ヒマスル、ソレ故ニサウ云フモノヲ賣却ラシテサウシテ是カラ出ル金ヲ以テ救護法實施ノ費用ニ充テルト云フコトガ得策デハナイカ、サウスレバドチラニモ弊害モナケレバ又豫算ノ上ニモ

ヒドイ困難モナイノデヤナイカ、斯ウ思ヒ
マス、併シナガラ廣島市ナドモ今日マデ御
拂下ニナラヌコトヲ以テ見レバ何カ矢張リ
政府若クハ軍事當局デ他ニ御充テニナル用
途ガアルカモ知レナイ、ソレハゴザイマセ
ウ、ケレドモ斯様ナモノハ各地方ニアル筈
デアル、既ニ軍馬ノ飼育所、之ガ爲ニハ國
有林、國有原野ヲ隨分澤山陸軍省ヘ御渡シ
申シテアル、或ハ譲リ渡シタモノモアルデ
ゴザイマセウ、私ガ山林局長時代カラ陸軍
省ニ移リマシタモノモ隨分澤山ゴザイマ
ス、之ガ爲ニ馬匹ノ改良ハ陸軍デハ十分ニ
御ヤリニナツテ居ルヤウニ考ヘル、ソレデア
ルカラ軍馬ト云フ方ニハソレ程今更改良ヲ
要スルコトハナイテアラウト私ハ思シテ居
リマス、斯ウ云フ點デゴザイマスカラ、私
ハ大藏大臣ガ出テ居ラレタラ其財源ニ付テ
モ伺ヒタイト思ヒマシタガ、是ハ御見エニ
ナッテ居リマセヌカラ農林大臣カラ御伺ヒ
モシ、又或ハ救護法ノ費用ト云フモノニ付テ
ハ、大藏大臣ガ何レ後刻賠償金ノコトデ御
出デニナル場合ガゴザイマスカラ、ソレハ
救護法ニ付テノ金ハ斯クスクリニスルノダト
言ウテ詳シク御話ヲ下サレバ尙ホ結構ダト
思テ居リマス、私ノ伺ハントスルノハ先ヅ
此位ニ致シテ置キマス

ウカト云フヤウナ意味ニ大體受取リマシタ
ガ、御承知ノ通り先年競馬ヲ嚴禁イタシマ
シタ當時ノ全國ノ馬事ノ模様ヲ見マスト、
餘程蓑ヘマシタ、即チ軍馬ノ方カラ申シマ
スト、十數年前ヨリ立テ居リマスル軍馬
充實ノ計畫ガ第二期ニ置カレテ居リマス
ガ、其進行ガ遲々トシテ進マナカッタノデ
アリマス、先年競馬法ヲ或ル改正ノ下ニ復
舊イタシマシタ共ニ、馬事思想ノ普及、
或ハ之ヲ依テ得マシタ歲入ニ依リマシテ
馬事充實ノ計畫ヲ立テマシテ、稍々今日ハ進
ンデ居リマスルガ、マダ御承知ノ百五十万
頭計畫ガ完備イタシマセヌ、之ガ爲ニ國防
上ニモ多少ノ支障ハ無イトハ申サレヌノデア
リマス、此度ノ改正ハ實ハ農林省トシテハ
從來カラ考ヘテ居タノデアリマシテ、種馬
ノ充實等ヲ主ト致シマシテ之ガ改正ヲ得ル
ト云フコトニ考ヲ常ニ費サレテ居タノデ
アリマス、又高橋君ノ御承知ノ牧野ノ荒廢シ
テ居ル現狀ニ付キマシテハ、何トカ國家ガ
之ヲ獎勵補助スルコトノ必要モ感ジテ居
タノデ、相當ノ調査ガ進ンデ居リマシタニ際
シテ、社會事業ノ最モ急ナルモノノ一ツトシ
テ、救護法ノ實施ヲ急グコトガ生ジタノデア
リマス、申ス迄モナク歐米各國ニ於キマシ
念ト相成テ居リマシテ、先年此改正ヲ致シ
マス時モ、當時ノ當局者ハ將來出來ルナラ
バ此一部ヲ割イテ社會事業、慈善事業ニ用
ヒルト云フ大體ノ考ヲ持テ居リマシタコ
トハ、私共御同感アリマシテ、恐ラクハ

斯様ナ種類ノ收入ノ一部ヲ社會事業ニ投ズ
ルト云フコトハ、恐ラクハ異論ノナイコト
ト思ヒマス、唯現在ガ馬事振興ニ對シテ相
當ナ經費ヲ要スル故ニ、衆議院等ニ於キマ
シテハ此改正ニ依ツテ得タ收入ノ全部ヲ馬
事振興ノ方ニ投ジ、社會事業ノ方ハ他日ニ
シタラ宜カラウト云フ議論モアリマシタ、
左様ナ點モ考ヘマシタカラ恐ラクハ立法例
トシテハ珍シクアリマスガ、將來競馬法改
正ニ依ツテ年々増スベキモノト我ニ期待
イタシテ居リマスル此收入ノ三分ノ二ヲ下
ラザル大部分ヲバ馬事振興ノ爲ニ使ヒ、社
會事業ニ投ズル部分ハ、其三分ノ一ヲ越サ
ヌコトト致シタノアリマス、又先刻凡ソ
之ニ依ツテ幾ラノ收入ヲ得ルカト云フ御尋
デアリマシタ、御承知ノ通り先年ノ競馬法
ノ改正ニ依ツテ、只今ハ年々百四十万圓カラ
百六十万圓ノ收入ガアリマス、而シテ馬事
振興ノ爲ニハ他ノ一般財源ト共ニ二百六七
十万圓ヲ馬事振興ノ爲ニ費シテ居ル、其中
百五六十万圓ハ競馬ノ收入ニ依ツテハ足リ
マスレバ、二百万圓グラ半新ニ收入ガアル
ノデアリマス、ソレハ「百分ノ四以内」ヲ「百分
ノ六以内」ト致スト云フ箇條ト、其他觀覽者
ト最モ甚シイ賭博類似ノ呑屋ガ其公認競馬
場ヲ荒シテ居ル、此呑屋ヲ征伐シマスル結
果、收入ノ大イニ増スコトモアリマス、或

ル必要ガアルト認メルノデアリマス、然ル
ニ人造綱ニ對スル現行關稅率ハ大正十五年
ノ改正後絲價ガ低落シマシタノデ、現在ニ
於テハ相當高率ニ當テ居リマスル關係モア
リマス、又保稅工場ヲ利用スルモノト然
ラザルモノトノ間ノ權衡ヲ考フル必要モア
リマスノデ差當リ現行稅率ノ四割ヲ引下ゲ
ルコトト致シタノデアリマス、次ニ木材ニ
關シマシテハ昭和四年ノ關稅引上ガアリマ
シテ相當輸入ノ調節ヲ見タノデアリマスガ、
其際所謂沿海州材等ハ各種ノ事情カラ其引
上ヲ差控ヘマシタ爲ニ年々輸入ノ增加ヲ見
テ相當輸入ノ調節ヲ見タノデアリマスガ、
ソコデ樺太材等ニ對
スル影響ヲモ考慮シマシタ上前回ノ改正ノ
後ヲ受ケテ稅率ノ釣合ヲ取ル爲ニ此沿海州
材等ニ對シマシテ新規課稅及稅率引上ヲ行
フコトニ致シタノデアリマス、尙ホ詳細ナ
ル點ニ付キマシテハ委員會ニ於キマシテ御
説明ヲ致ス考デアリマス、何卒御審議ノ上
運効ニ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタ
シマス

ト存ジマスルケレドモ、其要點ハ政府ハ人
繩織物ニ對シ將來此織物業ニ對スル保護工
場ノ新設又ハ擴張ノ特許ヲ興ヘザルハ勿論
之ガ取締ヲ嚴重ニスペシト云フ意味ノ希望
決議デゴザイマス、此點ハ本院ニ於キマシ
テ是ヨリ我國ニ於ケル最近發達シマシタ最
モ重要ナル化學工業ノ運命ヲ決スル上ニ於
テ重大ナル關係ガアルト思ヒマス、私ハ此
機會ニ於キマシテ此一點ヲ特ニ掲ゲテ政府
ニ御尋不致シタインデアリマス、嘗テ「ジユ
ネーヴ」ニ於キマシテ國際經濟會議ガ催サ
レマシテ、其際ニ種々國際通商自由主義ニ
基キ、各般ノ條約ガ締結セラタノデアリマ
ス、我國ニ於キマシテハ此協定ニ基キマシ
テ、昨昭和五年ノ七月十一日ニ輸入及輸出
ノ禁止制限ノ撤廢ノ爲ノ國際條約ガ發布サ
レタノデアリマス、而シテ其第四條ニ於キ
マシテ「左ノ種類ノ禁止及制限ハ該禁止及制
限カ同一條件ノ下ニ在ル外國間ニ於ケル專
斷ナル差別ノ手段又ハ國際貿易上ノ變裝セ
ル制限ト成ルカ如キ方法ニ於テ適用セラレ
サル限り本條約ニ依リ禁止セラルコトナ
シ」ト原則ヲ掲ゲ、而シテ其一項ニ、即チ第
七項ニ於キマシテ「外國產物ニ之ト同種ノ
内國產物ノ製產、取引、運送及消費ニ付國
内ニ於テ設定セラレタル禁止及制限ヲ及ホ
スコトヲ目的トスル禁止又ハ制限」ト云ワ條
項ガ掲ゲラレ、更ニ各條ヲ通ジマシテ先程
申上ゲタ通り自由通商主義ニ基イテ出來ル
ダケ國際貿易ノ助長發達相互ノ障壁ノ撤廢
ヲ規定イタシタノデアリマス、然ルニ只今

我國ニ於ケル人絹工業發達ニ付キマシテ最重要デアリ、又現ニ朝野ノ重大ナル問題トナッテ居リマスル保稅工場ノ制限及ビ之ニ對スル取締ニ關シマシテ、衆議院ハ殆ド是等ノ貿易助長制度ニ重大ナル壓迫若クハ制限ヲ加ヘル希望決議ヲ出シテ居ルノアリマス、一面國際信義ニ基キマシテ、既ニ我國ガ多數ノ世界各國ト協定ヲ結ンデ居リマス此條約ノ精神トハ、頗ル相反スルコトニ相成ルノデアリマス、殊ニ昭和五年ノ七月十一日ノ是等ノ前刻申上ガマシタ條約ノ補足條約、其中ニ第四條ノ第七、即チ只今申上ダマシタ規定ヲ補足シテ斯ウ云フ條項ガゴザイマス「締約國ハ或國ノ憲法及該國ガ實施スル國內ニ於ケル各種ノ取締方法ニ依リ内國產物ト輸入產物トノ間ニ於ケル完目的又ハ結果ヲ有セシムルコト能ハザルコト判明シタル場合ニ於テハ右待遇ノ相違ハ輸入產物ニ對シ不公正ナル差別ヲ設クルノテ居ルノデアリマス、果シテ然リトシマスルナラバ、殆ド條約ノ解釋上私ハ一點疑ナク是等ノ保稅倉庫其他ニ對スル自山通商ノト思フノデアリマス、此點ニ付キマシテ政府ハ如何ニ御所見アラセラレルノデアリマスカ、其一點ヲ茲ニ先以テ伺ヒタイト思ヒ

○政府委員(小川郷太郎君) 御質問ニ御答
へ致シマス、衆議院ノ關稅定率法申改正法
律案ノ特別委員會ニ於キマシテ、附帶決議
ガアリマシタノハ、只今御話ノ通リデアリ
ウナ趣旨ノ決議デアリマス、御承知ノ通り
ニ保稅工場ニハ一ツノ法律ガアリマスカラ
シテ、其法律ヲ適用セナケレバナラナイゾ
デアリマス、只今條約ニ付テノ御話ガアリ
マシタガ、條約ノ解釋、御説御尤モト思ヒ
マス、又保稅工場ハ法律ノアル以上ハ無視
スル譯ニハ行キマセヌ、然ルニ保稅工場制
度ノ目的ハ輸出品ノ原料タル輸入品ニ對シ
テ關稅ヲ徵セナイデ輸出貿易ノ振興ヲ圖ル
ト云フニアルノデアリマス、其趣旨ニ基キ
其法律ノ適用ト致シマシテ、政府ハ昭和十
二年以來人絹ノ保稅工場ヲ認メテ來タノデ
アリマスガ、最近ニ至リマシテ之ヲ出願ス
ル者ガ續出イタシマシタ無制限ニ之ヲ特許
シテ居リマスト云フト直ニ只今御話ノ條約
ノ精神ニモ悖クテ來マセウガ、輸出入絹織物
ノ原料トシテ使用セラレテ居ル内國人絹ガ
外國人絹ニ依テ置キ換ヘラレルト云フコ
トニナリマシテ、人絹製造業ヲ壓迫シ、又
内國人絹ヲ使用スル輸出織物製造業者ニモ
多大ノ影響ヲ與ヘルモノト考ヘラレマスノ
デ、此際一面高率ナル關稅ヲ引上ゲマスト
同時ニ、人絹ノ保稅工場ヲ或ハ新設シ、或
ハ擴張スルト云フコトニ付キマシテモ慎重
ナル態度ヲ以テ之ニ善處セント考ヘテ居

次第ニアリマス

○東郷安君 簡單デゴザイマスカラ此席力ラ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○東郷安君 只今ノ政府ノ御説明ハ甚ダ徹底ヲ缺クコトト思ヒマス、就キマシテハ本件審議ノ前提トシテ最モ重要ナル點ト考ヘマス、委員會ニ掛ケラレマスマデニ於キマシテ、政府ハ篤ト是等ノ諸點ヲ御講究アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ質疑モナイヤウデゴザイマスカラ特別委員ノ指名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕
關稅定率法申改正法律案特別委員
侯爵西郷 従徳君 子爵綾小路 護君
淺田 德則君 男爵東郷 安君
室田 義文君 西野 元君
根津嘉一郎君 横山 章君
高廣 次平君

○議長(公爵徳川家達君) 勞働者災害扶助法案、勞働者災害扶助責任保険法案、勞働者災害扶助責任保険特別會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、齋藤政府委員會

労働者災害扶助法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和六年三月二十日

衆議院議長 藤澤幾之輔
貴族院議長公爵徳川家達殿

主事

ノ勞働者ヲ使用スルモノ
事業又ハ衛生上有害ノ虞アル事業ニシテ勅令ヲ以テ指定スルモノ

主務大臣ハ前項ノ規定ニ該當セザル土

石砂礫ヲ採取スル事業及岸壁、波止場、停車場又ハ倉庫ニ於ケル貨物取扱ノ事

業ニ付地域ヲ限り本法ヲ適用スルコト得

修理、變更若ハ破壊ノ工事ニシテ左ノ一ノニ該當スルモノ

土木工事又ハ工作用ノ建設、保存、勞働者ヲ使用スルモノ

(イ) 國、道府縣、市町村又ハ勅令ヲ以テ指定スル公共團體ノ直營工事

(ロ) 鐵道、軌道若ハ索道ノ運輸事

業又ハ水道、電氣若ハ瓦斯ノ事業ヲ營む者ガ其ノ事業ノ爲ニスル直

(ハ) 其ノ他ノ工事ニシテ勅令ノ定ムル規模ノモノ

(ロ) 鐵道、軌道若ハ索道ノ運輸事業又ハ一定ノ路線ニ依ル自動車ノ運輸事

業

(ハ) 其ノ他ノ工事ニシテ勅令ノ定ムル規

ル規模ノモノ

(ロ) 鐵道、軌道若ハ索道ノ運輸事業又ハ一定ノ路線ニ依ル自動車ノ運輸事

業

(ハ) 其ノ他ノ工事ニシテ勅令ノ定ムル規

ル規模ノモノ

(ハ) 其ノ他ノ工事ニシテ勅令ノ定ムル規

ル規模ノモノ

(ハ) 其ノ他ノ工事ニシテ勅令ノ定ムル規

ルトキハ此ノ限ニ在ラズ
ノ事業ガ專ラ同一ノ注文者ノ注文ニ依リ爲サルモノナルトキハ其ノ注文者モ亦其ノ事業ニ付事業主トス

前條第三項ノ規定ハ前項ノ注文者ガ扶助ノ請求ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

シテ勅令ヲ以テ指定スルモノ

主務大臣ハ前項ノ規定ニ該當セザル土

石砂礫ヲ採取スル事業及岸壁、波止場、停車場又ハ倉庫ニ於ケル貨物取扱ノ事

業ニ付地域ヲ限り本法ヲ適用スルコト得

修理、變更若ハ破壊ノ工事ニシテ左ノ一ノニ該當スルモノ

土木工事又ハ工作用ノ建設、保存、勞働者ヲ使用スルモノ

(イ) 國、道府縣、市町村又ハ勅令ヲ以テ指定スル公共團體ノ直營工事

(ロ) 鐵道、軌道若ハ索道ノ運輸事

業又ハ水道、電氣若ハ瓦斯ノ事業ヲ營む者ガ其ノ事業ノ爲ニスル直

(ハ) 其ノ他ノ工事ニシテ勅令ノ定ムル規

ル規模ノモノ

(ロ) 鐵道、軌道若ハ索道ノ運輸事業又ハ一定ノ路線ニ依ル自動車ノ運輸事

業

(ハ) 其ノ他ノ工事ニシテ勅令ノ定ムル規

ル規模ノモノ

(ハ) 其ノ他ノ工事ニシテ勅令ノ定ムル規

ル規模ノモノ

(ハ) 其ノ他ノ工事ニシテ勅令ノ定ムル規

ル規模ノモノ

ルトキハ此ノ限ニ在ラズ
ノ事業ガ專ラ同一ノ注文者ノ注文ニ依リ爲サルモノナルトキハ其ノ注文者モ亦其ノ事業ニ付事業主トス

前條第三項ノ規定ハ前項ノ注文者ガ扶助ノ請求ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

シテ勅令ヲ以テ指定スルモノ

主務大臣ハ前項ノ規定ニ該當セザル土

石砂礫ヲ採取スル事業及岸壁、波止場、停車場又ハ倉庫ニ於ケル貨物取扱ノ事

業ニ付地域ヲ限り本法ヲ適用スルコト得

修理、變更若ハ破壊ノ工事ニシテ左ノ一ノニ該當スルモノ

土木工事又ハ工作用ノ建設、保存、勞働者ヲ使用スルモノ

(イ) 國、道府縣、市町村又ハ勅令ヲ以テ指定スル公共團體ノ直營工事

(ロ) 鐵道、軌道若ハ索道ノ運輸事

業又ハ水道、電氣若ハ瓦斯ノ事業ヲ營む者ガ其ノ事業ノ爲ニスル直

(ハ) 其ノ他ノ工事ニシテ勅令ノ定ムル規

ル規模ノモノ

(ロ) 鐵道、軌道若ハ索道ノ運輸事業又ハ一定ノ路線ニ依ル自動車ノ運輸事

業

(ハ) 其ノ他ノ工事ニシテ勅令ノ定ムル規

ル規模ノモノ

(ハ) 其ノ他ノ工事ニシテ勅令ノ定ムル規

ル規模ノモノ

(ハ) 其ノ他ノ工事ニシテ勅令ノ定ムル規

ル規模ノモノ

自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ

處罰ヲ免ルコトヲ得ズ

第十一條 本法中事業主ニ關スル罰則ハ

國、道府縣、市町村及勅令ヲ以テ指定

スル公共團體ニ之ヲ適用セズ

附 則

本法ハ昭和七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

労働者災害扶助責任保険法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和六年三月二十日

衆議院議長 藤澤幾之輔

貴族院議長公爵徳川家達殿

労働者災害扶助責任保険法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和六年三月二十日

衆議院議長 藤澤幾之輔

労働者災害扶助責任保険法案

第一條 政府ハ本法ニ依リ労働者災害扶助責任保険ヲ管掌ス

第二條 労働者災害扶助責任保険ニ於テ

労働者災害扶助責任保険法

第一條 政府ハ本法ニ依リ労働者災害扶

助責任保険ヲ管掌ス

第二條 労働者災害扶助責任保険ニ於テ

労働者災害扶助法、工場法又ハ礦業法

ハ労働者災害扶助法、工場法又ハ礦業法

ニ基ク扶助責任ヲ保險スルモノトス

扶助責任ノ保險ヲ付スベキ事業ノ種類、

保險料納付期日其ノ他保險料ニ關スル

事項ニ付テハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 労働者災害扶助法第一條第一項

第二號(ハ)ノ工事ノ事業主及勅令ノ定

ムル事業主ハ政府ト保險契約ヲ締結ス

ベシ但シ同法第三條第二項ノ場合ニ於

オハ元請負人ニ於テ保險契約ヲ締結ス

ベシ

第四條 保險契約者ヲ以テ保險金受取人

トス但シ前條但書ノ規定ニ依リ元請負人ガ保險契約ヲ締結シタル場合ニ於テ扶助ヲ引受けタル下請負人ヲ以テ保險金受取人トス

政府ハ前項ノ規定ニ拘ラズ勅令ノ定ム

ル所ニ依リ扶助ヲ受クベキ者ニ保險金ヲ支拂フコトヲ得

不實ノ告知ヲ爲シタルトキハ政府ハ勅令ノ定ム

過失ニ依リ保險料算定ノ基礎タル重要ナル事實ヲ告知セズ又ハ其ノ事實ニ付

不實ノ告知ヲ爲シタルトキハ政府ハ勅

令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ヲ支拂ハザルコトヲ得

第六條 保險契約者保險料ヲ拂送ニ付遲滯シタルトキハ其ノ遲滯期間ニ於テ生ジタル事故ニ對スル保險金ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ全部又ハ一部ヲ支拂ハザルコトヲ得

第七條 保險契約者又ハ保險金受取人ガ故意若ハ重大ナル過失ニ依リ又ハ労働者災害扶助法、工場法若ハ礦業法ニ基ク危害豫防者ハ衛生ニ關スル命令ニ違反シタルニ依リ扶助責任ノ原因タル事故ヲ生ゼシメタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ヲ支拂ハザルコトヲ得

第八條 保險金支拂ノ義務及保險料返還ノ義務ハ二年、保險料支拂ノ義務ハ一年ヲ經過シタルトキハ時效ニ依リテ消滅ス

第九條 保險契約者又ハ保險金受取人ガ

ニ付政府ニ對シ民事訴訟ヲ提起スルニハ勞働者災害扶助責任保險審査會ノ審査ヲ經ルコトヲ要ス

前項ノ審査ノ請求ハ時效ノ中斷ニ關シテハ裁判上ノ請求ト看做ス

第十條 勞働者災害扶助責任保險審査會ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 本法ニ依ル保險ニ關スル書類ニハ印紙税ヲ課セズ

第十二條 行政官廳ハ必要アリト認ムルトキハ當該官吏又ハ吏員ヲシテ本法ニ依リ扶助責任ノ保險ヲ付シ又ハ付スベキ事業ノ行ハル場所ニ臨檢セシムルコトヲ得

第十三條 第三條ノ事業主保險契約ヲ締結セザルトキハ千圓以下ノ過料ニ處ス

前項ノ過料ニ付テハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第十四條 正當ノ事由ナクシテ當該官吏又ハ吏員ノ隠瞞ヲ拒ミ、妨ギ若ハ忌避シ又ハ其ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第一條 勞働者災害扶助責任保險特別會計法

第二條 本會計ニ於テハ保險料、積立金スル爲特別會計ヲ設置シ其ノ歲入ヲ以テノ歲出ニ充ツ

第三條 本會計ニ於テハ保險料、積立金ヨリ生ズル收入、借入金及附屬雜收入ヲ以テ其ノ歲入トシ保險金、保險料ノ返還金、保險施設費、借入金ノ償還金及其ノ利子、一時借入金ノ利子、事業取扱費其ノ他ノ諸費ヲ以テ某ノ歲出トスブルトキハ之ヲ積立ツベシ

本會計ノ歲計ニ不足アルトキハ積立金ヨリ之ヲ補足スベシ

第四條 本會計ニ屬スル經費ヲ支辨スル爲必要アルトキハ政府ハ本會計ニ負擔ニ於テ借入ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ借入ヲ爲スコトヲ得ル金額ハ純保險料ヲ以テ保險金及保險料ノ返還金ヲ支辨スルニ不足スル金額

勞働者災害扶助責任保險特別會計法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和六年三月二十日

衆議院議長 藤澤幾之輔

貴族院議長公爵徳川家達殿

勞働者災害扶助責任保險特別會計法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和六年三月二十日

衆議院議長 藤澤幾之輔

勞働者災害扶助責任保險特別會計法案

第五條 本會計二於テ支拂上現金ニ餘裕

アルトキハ之ヲ大藏省預金部ニ預入ル
ルコトヲ得

アルトキハ本會計ノ負擔ニ於テ一時償入ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル一時借入金ハ當該年
度内ニ之ヲ返還スペシ

第七條 本會計ノ積立金ハ國債ヲ以テ保
有ノ又ハ不減百頭金都ニ頂ヘンヲ軍

有シ又ハ大蔵省預金部ニ預乃い之ヲ得
用スルコトヲ得

第八條 政府ハ毎年本會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製ノ委員會ノ總決算、共ニ之ヲ

第三回 講義シ歳入歳出ノ総額算ト共ニテ
ヲ帝國議會ニ提出スベシ

第九條 本會計ノ每年度歲出豫算ニ於ケ

ル事業費ノ支川殘額ハ之ヲ翌年度ニ
越使用スルコトヲ得

第十條 本會計ノ收入支出ニ關スル規定期、助金ノ以テノ定、

八朝全集卷之三

本法ハ昭和六年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

一般會計ノ昭和六年度ニ限り其ノ豫算ノ
定ムル金額ヲ本會計ニ繰入ルルコトヲ
得

〔政府委員齋藤隆夫君演壇ニ登ル〕

○政府委員（齋藤）夫君 労働者災害扶助法及ビ労働者災害扶助責任保険法、此兩案審議

ハ密接ノ關係ガゴザイマスルカラ一括シテ
提案ノ理由ヲ説明イタシマス、労働者災害扶助法ハ土木建築工事、土石採取業、仲仕^{吉田}、
負業並ニ鐵道、軌道、乗合自動車ノ運輸業

ヲ與ヘラレムコトヲバ切望イタシマス
〔政府委員小川郷太郎君演壇ニ登ル〕
○政府委員(小川郷太郎君)　只今議題トナ
リマシタ勞働者災害扶助責任保険特別會
法案ニ付キマシテ其提案ノ理由ヲ説明イタ
シマス、只今内務當局ヨリ説明アリマシタ
如ク、勞働者災害扶助法、工場法及鑛業法
ニ基ク扶助ニ關シマシテ、勞働者ニ對スル
扶助料支給ノ確保ト事業主ノ負擔ノ便宜ト
ヲ計リマスル爲、其扶助責任ヲ國營保険
トナスノ必要ガアリマシテ、勞働者災害扶
助責任保険法案ガ提出セラレタノデアリマ
スガ、該保険事業ハ事業主ノ負擔イタシマ
スル保険料等ノ收入ヲ以テ保険金、保険施
設費、事業取扱費等一切ノ經費ニ充用セム
トスルモノニアリマスカラ、性質上之ガ收
支ハ一團トシテ計算スペキモノト存ジマ
ス、隨テ本事業ニ關スル歲入歲出ハ之ヲ一
般ノ会計ト區分シ特別會計ヲ設置スル必
要ガアルノデアリマス、是レ本案ヲ提出イタ
シマシタ理由デアリマス、何卒御審議ノ上
協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス
○議長(公爵徳川家達君)　特別委員ノ氏名
ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス
〔小林書記官朗讀〕

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第一、

賠償金特別會計法廢止法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續

〔國務大臣井上準之助君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(井上準之助君) 先日ノ高橋琢

也氏ノ御質問ニ對シテ答辯イタシマス、第

一ノ御質問ハ、昨年一月當議院ニ於テ濱口

首相ハ非募債政策ヲ高調シ、又獨逸賠償金

ヲ減債基金ニ繰入レルコトヲ力説シナガ

ラ、忽チ之ヲ翻シテ失業公債ヲ募集シ、又

賠償金ノ減債充當ヲ中止シタ、前後矛盾ノ

コトデアッテ、果シテ政府ニ誠意アリヤ、斯

ウ云フ御質問デゴザイマシタ、昨年ノ……

一般會計ノ歲費ニ繰入レルコトニ致シタノデアリ

マス、誠ニ一旦之ヲ決メテ、僅カ一箇年間

實行シテ直チニ止メナケレバナラヌコトハ

誠ニ遺憾デアリマスガ、如何ニモ歲入ガ急

激ニ巨額ニ減リマス狀態ニ於テハ、已ムヲ

得ズ左様ナ處置ニ出デタノデゴザイマスカ

ラ、ドウゾ御承知ヲ願フテ置キタイト思ヒマ

ス、第二ノ質問ハ賠償金特別會計ヲ今般止

メヤウ、然ルニ獨逸賠償金ヲ一般會計ニ繰

入レルコトハ當分ト云フデハナイカ、ソレ

ナラバ特別會計ヲ止メル必要ハナイデハナ

イカ、斯ウ云フ御質問ノヤウデアリマス、

ソレハ事情ヲ申述ベマスト能ク御了解下サ

ルデアラウト思ヒマスガ、獨逸ノ賠償金特

別會計ト申シマスモノハ、大分以前カラ設

置サレマシテ、獨逸ノ賠償金ハ之ヲ蓄積イ

シテ失業者ヲ救濟スルト云フ特別ノ處置ト

シテ已ムヲ得ズ取計ラッタ次第アリマス、

賠償金ヲ減債基金ニ繰入レマスコトモ昭和

五年ニ一度實行イタシマシテ、之ヲ直ニ一般

會計ニ繰入レマスコトハ誠ニ我ミト致シマ

シテハ遺憾此上モナイトゴザリマス、

一旦決メシタコトヲ一箇年間實行シテ直

チニ之ヲ止メマスコトハ、遺憾此上モナ

コトデアリマスガ、昭和六年度ノ豫算ヲ拵

ヘマス場合ニ、如何ニモ豫期ニ反シマシテ

歳入ガ巨額ニ減リマス、其減ルニ對シテ歲

出ヲ減シテ見テ極力努力イタシマシタケレ

ドモ、行政組織ノ根本ニ立戾テ整理ヲセヌ

ケレバ此上唯歲出ヲ減スト云フコトハ行政

ノ運用ノ上ニ非常ナ無理ガ行クト云フコト

ヲ認メマシタノデ當分ノ間此獨逸賠償金ヲ

減債基金ニ繰入レルコトヲ止メマシテ、一

般ノ歲費ニ繰入レルコトニ致シタノデアリ

マス、誠ニ一旦之ヲ決メテ、僅カ一箇年間

實行シテ直チニ止メナケレバナラヌコトハ

アル必要ガナクナタカラ止メテシマウノデ

アリマシテ、今般ノ減債基金ノ繰入トカ、或

ハ繰入ヲ一時中止シタコトハ直接ノ關係

ゴザイマセヌカラ、ドウゾ其點ハ御承知ヲ

願フテ置キタウゴザイマス、第三ノ質問ハ獨

逸賠償金ノ如キハ國運ヲ賭シテ巨額ナ金ヲ

使フテ獨逸ト戰爭ノ結果得タ金デアル、此金

ヲ唯、有意義ニ使ハズ一般ノ歲入ニ繰入レ

ルト云フコトハ面白クナイ、何カ之ヲ有意

義ナ意味ニ使ウノガ適當ナ處置デハナイ

カ、斯ウ云フ御尋ネデアリマシテ、寧ロ一

般ノ經費ニ使用スルコトハ不當ダ、斯ウ云

ガ、誠ニ御尤モナ御質問デアリマス、世界

戰争ニ依リマシテ其爲ニ巨額ナ經費モ使ヒ

マシテ、國債モ増加シテ居リマス、從テ一

神ノ幾分ハ御了解ニナツタノデアル、併シ公

債政策ニ於テハ曩ニモ一新紀元ヲ作ルトマ

デ仰シヤツタノヲ、私ハドウシテ此ヤウナ經

理ヲスルヤウニナツカト云フコトニ付テ

セラレナカツタノデアル、ソレハ再ビ私ハ詮

議ハ致シマセヌ、併シアレ程ニヤカマシイ、

リマシタモノニハ大概支出ヲシ盡シテ仕舞

ヒマシタカラ、根本カラ特別會計ノ必要ガ

ナクナツタノデアリマス、從ヒマシテ今度ノ

賠償金ヲ一般會計ニ繰入レマスコトト、特

別會計ヲ廢止イタシマスコトハ別デゴザリ

マス、從ヒマシテ今般當分ノ中、獨逸賠償

金ヲ一般會計ニ繰入レテ居ルコトヲ、假リ

ニ他日再び減債基金ニ繰入レルト致シマシ

テモ、其ノ際ハ特別會計ヲ設ケル必要ガナ

ドモ、其ノ際ハ特別會計ニ繰入レテ居ルコトヲ、假リ

ニ他日再び減債基金ニ繰入レルト致シマシ

テモ、其ノ際ハ特別會計ヲ設ケル必要ガナ

ニ一般歲入ノ激減ノ爲ニ、是デハ行政ノ運

用ヲ妨ゲルカラ、一時已ムヲ得ズ、之ヲ一

般經費ニ充當スルコトニ致シタノデアリマ

シテ、之ヲ當分トシテ成ルベク早ク高橋氏

ノ御質問ノヤウニ有意義ナ使用ノ方法、即

チ我ミガ減債基金ニ繰入レヤウト云フコト

ニ、又舊ニ戻シタイト考ヘテ居リマスカラ、

左様御承知ヲ願フテ置キタウゴザイマスカラ、私

ハ御質問ノ當時、席ニ居リマセヌノデアリ

マシテ、答辯ガ不十分デゴザイマシタラ又

重不テ御答ヘ致シマス

○高橋琢也君 簡單デゴザイマスカラ、此

處デ御許シヲ願ヒマス、只今井上準之助氏

ノ御質問ハ、一面釋明ヲナサツタノト、一面

ハ私ガ昨日質問ヲ致シタ點ニ合致シテ居ラ

ヌノデゴザイマスガ、今日ノヤウナ忙シイ

ノ御質問ハ、一面釋明ヲナサツタノト、一面

ハ私ガ昨日質問ヲ致シタ點ニ合致シテ居ラ

ヌノデゴザイマスガ、今日ノヤウナ忙シイ

場合ニ、再び演壇ニ立テ質問ヲ致スト云フ

コトハ如何ニモ皆サンニ對シテモ相濟マヌ

コトハ如何ニモ皆サンニ對シテモ相濟マヌ

次第アリマスカラソレハ差控ヘマスガ、

只今有意義ニ使ウノハ尤モダ、ソレマデ御

分リニナツテ下サレバ、私ノ質問ヲ致シタ精

神ノ幾分ハ御了解ニナツタノデアル、併シ公

債政策ニ於テハ曩ニモ一新紀元ヲ作ルトマ

デ仰シヤツタノヲ、私ハドウシテ此ヤウナ經

理ヲスルヤウニナツカト云フコトニ付テ

セラレナカツタノデアル、ソレハ再ビ私ハ詮

議ハ致シマセヌ、併シアレ程ニヤカマシイ、

ナツタ、私ハ當時實ニ此政策ナレバ公債ハ日

趣旨ニ由ダモノが多イ、而シテ被告人が當
鶴ノ自白ヲ爲シマシタ場合ノ如キハ、第四
條ノ第二項、第三項ニ規定セラレテ居ル重
大ナル過失ニ因ル行爲デアルト解釋セザル
ニニ對スル政府ノ説明デアリマス、ソレカ
ラ第三ニ對シマシテハ、此法案ハ全ク無罪
ノ者ガ起訴ニ因リ名譽ノ毀損ヲ被リタル
者及ビ勾留又ハ刑ノ執行ニ因ツテ有形ノ損害
害ヲ被ツタル者其者ヲ以テ、國家ノ慮ルベキ
重大ナ損害ヲ受ケタ者ト認メテ、斯カル場
合ニ對シテ賠償ヲ與ヘルト云フコトニ致シマ
スレバ、民事裁判ノ場合ヤ行政處分ノ際ニ
モ及ボサヌケレバナラナイト云フコトニナ
ルノデアフテ、今日ノ財政狀態ニ於キマシテ
ハ、國庫ノ負擔ガ到底許サナイト云フヤウ
ナ所迄行クコトニナルデアラウ、此種ノ立
法ト云フモノガ元來我國ニ於キマシテハ最
初ノ試ミデアリマスルカラ、先ヅ此法案ニ
於ケル最少限カラ出發イタシタイト云フ考
アルカラ、補償ノ裁判ノアフタ場合ニ付テ、
第十九條ノ規定ヲ設クルコトハ差支ハナ
イ、併シ不拘束ニテ起訴セラレテ、無罪免
訴ノ言渡ヲ受ケマシタ場合ハ、此法案ニ依リ

ルト云フコトハ適當デハナリ、再審無罪ノ言渡ニ付キマシテノ公告ハ、既ニ刑事訴訟法第五百五十五條ニ規定セラレテ居ルノデアリマスルガ、通常手續ニ於テ無罪免訴ノ言渡ガアリマシタ場合ニ付キマシテハ、刑法改正委員會ニ於キマシテ、或ハ刑法中ニ相當ノ規定ヲ置カルルコトニアラウト信ズル、又司法省ハ特別ノ規定ガナクトモ、適當ナ場合ニハ官報ノ彙報欄ニ無罪免訴ノ言渡ニ關スル記事ヲ掲載スル處置ヲ執ル見込デアルト云フノガ、第四ニ對スル説明デアリマス、ソレカラ第五ニ對スル説明ヘ、軍法會議ニ於テ豫審ヲ經テ不起訴ノ處分ヲ受クル者ノ中ニハ、通常裁判所ニ於テ刑事訴訟法第三百十三條ニ依ル豫審免訴ノ言渡ヲ受ケタル者ニ該當スル者モアリ、又其他ノ理由ニ依リマシテ、不起訴トナル者ヲモ包含シテ居ル場合ガアルノデアル、而シテ此起訴處分ヲ命ズル長官ノ命令ト云フモノハ、何等ノ理由ヲモ示スベキモノデナイカラシテ、軍法會議ノ判士ニ於テ、何レノ不起訴ガ刑事訴訟法第三百十三條ノ免訴ニ該當スルモノヲアルカト云フコトヲ判断ヲ致シマシテ、補償ノ決定ヲ爲スコトハ出來ナイ、ソレ故ニ刑事訴訟法ニ依ル免訴ト同一ニ見ルコトハ出來ナイ、斯ウ云フノデアリマス、是ハ詰リ軍法會議ノ立前ニ於キマシテハ、普通ノ刑事訴訟法ノ立前ト違テ居リマシテ、豫審ガ起訴前ノ手續ニナッテ居ルノデゴザイマスルカラ、此間ニ普通刑事訴訟

第六ニハ、本法ヲ植民地ニ施行スル手續上ノ形式ハ一樣デハナイ、朝鮮、臺灣、關東州、南洋廳等、ソレゾレ異ナルモノデアラウト思ヒマスルケレドモ、本法ノ實質ト云フモノニ付キマシテハ、各種民地ニ採用セラレルコトニナル見込デアル、斯ウ云フノガ政府ノ御答辯デゴザリマス、ソレカラ第7ノ統計ニ付キマシテハ、當局ノ提出ノ参考資料、第一表、第二表、第三表ニ詳シタルアルノデゴザリマシテ、之ヲ一々讀ミマスルコトヘ煩ニ瓦リマスルカラ省キマヌケレドモ、大正八年カラ昭和三年ニ至ル十年間ニ、豫審免訴トナリマシタ者ニシテ、勾留セラレタル人員ハ、罪トナラザルモノガ二三百三十九人、犯罪ノ嫌疑ナシト云フ者ガ千五百八十五人、合計一千八百二十四人、一箇年平均百八十二人ト四分ニナル、ソレカラ同ジタ無罪ノ判決、之ヲ受ケマシタ被告人ノ申ニ勾留セラレマシタ人員ハ、罪トナラズト云フ裁判ニ依ニタ者ガ二百四十六人、犯罪ノ證據ナシト言ハレタ者ガ四千三百四十六人、合計四千五百九十二人デアリマス、一箇年ノ平均ガ四百五十九人ト二分、ソレカラ再審ニ依ニテ無罪トナリマシタ被告人員、是ハ合計三十四人、一箇年平均三人ト四分、非常上告ニ依リマシテ無罪トナリマシタ被告人員ガ合計五人、一箇年平均ガ三人ト四分トスウ云フヤウナ敷ニ相成テ居ルノアリマス、此外ニ本案ノ適用ニ當リマシテ

○議長（公爵徳川家達君） 本案ノ第二讀會
ヲ開クコトニ御異存有ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認
マス

實例ヲ擧ゲテ委員ニ於テ政府ニ質問ヲ致シ、
政府モ此點ニ付キマシテハ特ニ考慮ヲ拂フ
ト云フヤウナ答辯デゴザイマシタ、詳細ハ
委員會ノ速記録ニ依フテ御覽ヲ願ヒタイノ
デアリマス、委員會ハ大體ニ於キマシテ結
局此衆議院ノ修正ニ係ル原案ヲ可決スルコ
トニナシタノデゴザイマスルガ、併シ此可決
ニ際シマシテハ、次ノ如キ希望ヲ附帶條件
トシテ決議ヲ致シタ次第デゴザイマス、其
希望條項ヲ朗讀イタシタイト思ヒマス「本
法案ハ頗ル時宜ニ適シタルモノナリト雖モ
其規定スル所不備ノ點多シ政府ハ宜シク將
來是レガ補正ノ途ヲ講ゼラレントコトヲ望
ム」、是ガ即チ附帶條件アリマス、即チ今
日ノ場合ニ於テ斯ノ如キ法案ノ出ルコトハ
時宜ニハ適シテ居リマスルケレドモ、能タ
考ヘマスルト不備ノ點ガ甚ダ多イ、多イカ
ラ、先ヅ本案ノ成立ノ後ニ於テ政府ハ宜シク
將來ニ補正ノ途ヲ講ゼラレテ、此法案ヲ完
璧ノモノニシテ貰ヒタイト云フコトガ希望
ノ趣旨デゴザイマス、以上ノ次第デゴザリ
マシテ、此段御報告ヲ申上ダル次第デアリ
マス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
ヌマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議
通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
ヌマス

○議長(公爵徳川家達君) 書記官ヲシテ報
告ヲ致サセマス

〔翻古書記官朗讀〕

本日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

關稅定率法中改正法律案

關稅定率法中改正法律案

本日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

寄生蟲豫防法案修正報告書

○議長(公爵徳川家達君) 次ノ議事日程ハ
決定次第本院宣報ヲ以テ御通知ニ及ビマ
ス、本日ハ是ニテ散會イタシマス

午後五時一分散會

